

私が創る自然浴

取付説明書 — パーゴラ —

- このたびは、東洋エクステリア製品をお買いあげいただきましてまことにありがとうございます。
- この取付説明書に示した表示記号の内容は、製品を安全に正しく施工していただき、あなたや他の人々の危害や損害を未然に防止するためのものです。
表示記号の内容を良く理解したうえで、本書の内容(指示)にしたがってください。
- この取付説明書では、次のような記号を使用しています。

安全に関する記号 記号の意味



警告

- 取扱いを誤った場合に、使用者が死亡または重傷を負うおそれのある内容を示しています。



注意

- 取扱いを誤った場合に、使用者が中・軽傷を負うおそれのある内容、または物的損害のおそれがある内容を示しています。

一般情報に関する記号



ポイント

- 取付手順で、特に注意して作業をしていただきたいことを示しています。
- 守っていただかないと組付けができない内容、または製品全体に後々不具合が発生するおそれのある内容を示しています。



- 取付説明の内容全体(個々の説明枠)にかかる注意事項を示しています。
- 取付説明の内容に制限がある場合の条件を示しています。



補足

- 説明の内容で知っておくと便利なことを示しています。

<本製品の施工について>

- 本製品は、認定研修を終了したエクシオール指定特約店様の施工を前提にしています。

<タイルに対する知識>

- タイルの長さ、幅、反りは、JIS A 5209の基準に準拠しています。
- タイルは製法上、同色のタイルでも色合いが違う場合があります。

<施工の前に>



注意

- 正しく施工、組付けをするために、施工前に必ず取付説明書をお読みください。
- 製品の施工については、必ず取付説明書にしたがってください。
- 梱包明細表で必要な部材、部品が揃っているか確認してください。
- 本製品は、1階設置用です。2階以上には設置しないでください。
- 本製品は躯体取付け専用のため、躯体から独立して設置しないでください。
- 発泡ブロックは、難燃材を含んでいますので微少火源では着火しにくくなっていますが、燃焼することがありますので十分に注意してください。
- 発泡ブロックは、80℃以上になると変形しますので高温のものは近づけないでください。
- 発泡ブロックはポリスチレンフォーム製のため、アルコール系以外の有機溶剤や石油類に侵される性質を持っています。油性塗料の塗布は行わないでください。
- 私が創る自然浴本体の施工は、「私が創る自然浴 一本体総合編—取付説明書(E131)」を参照してください。

<施工の前に>

⚠ 注意

- 発泡ブロックの変形、破損防止のため強い衝撃を加えないでください。
- 発泡ブロックの材質劣化を防止するため、長時間直射日光に当たらないようにしてください。屋外保管の場合は、表面をシート、ダンボール等で養生をしてください。
- 発泡ブロックが、風により飛散するのを防止するため、シートやネット等で固定してください。
- 施工終了後、取扱説明書は施主様にお渡しください。

<施工上のご注意>

⚠ 注意

- 取付説明書の順序通りに組付けてください。製品の強度など、性能が低下する場合があります。
- ボルト、ネジは弊社純正品の規定本数を確実に締付け、固定してください。
- アルミ製品が異種金属と接触する場合は、絶縁処理をしてください。
- 製品の改造は絶対にしないでください。
- 施工終了後は、ボルト、ネジなどにゆるみがないか確認してください。
- 施工中についた汚れは取除き、誤ってキズをつけた場合は補修塗料で補修してください。
- タイルの接着には必ず弊社指定の接着剤を使用してください。
- 施工終了後は、パネルの開閉チェックを行ない、不具合がないか確認してください。

<基礎工事について>

⚠ 注意

- 基礎は弊社指定の寸法以上にしてください。
- 寒冷地で凍上するおそれのある地域で使用する場合は、凍上線の下まで基礎を設けてください。
- コンクリート(またはモルタル)には、塩分を含む砂(海砂)および塩素系や強アルカリ系のコンクリート用混和剤(凍結防止剤、凝固促進剤、急結剤など)は使用しないでください。使用するとアルミなどの金属が腐食の原因になります。必要な場合は非塩素系や非アルカリ系の混和剤をご使用ください。
- モルタルやコンクリートの抽出液が、施工中に製品に付着しないように注意してください。抽出液は強アルカリ性で、シミやムラなどの外観不良の原因になります。
- 製品の表面に付着したモルタルやコンクリートなどは、速やかに拭き取ってください。
- 養生期間は十分にとり、その間に重い物をのせたり、振動を与えないでください。

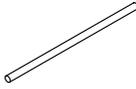
<電気配線工事について>

⚠ 注意

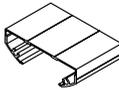
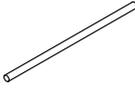
- AC100Vの電線の埋設工事、配線作業に関しては、電気工事店の有資格者に依頼してください。
- AC100V用の照明器具は、第3種接地工事を行なってください。
- インターホン親機と露出型インターホン子機間の配線を、電灯線、電話回線と平行配線する場合は、500mm以上離してください。音声に雑音が入る場合があります。
- 照明用配線にはVVF ϕ 1.6または ϕ 2.0の3芯単線(アース線を含む)を別途準備してください。
- 照明器具には「EEスイッチ」、「明るさセンサー」または「入切スイッチ」を別途設けてください。
- インターホン用信号線には、VCTF0.75mm²のより線、または ϕ 1.0単線2芯か3芯を別途準備してください。
- PF管は現場で別途手配してください。

■ 梱包明細表

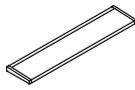
① 標準壁内柱セット

名 称	略 図	員 数			
		H2100		H2300	
		標 準	ロ ング	標 準	ロ ング
支柱W		2	2	2	2
横材1		3	3	3	3
横材固定金具		4	4	4	4
アンカー棒		2	2	2	2
①-① φ4×16ナベピアスネジ		20	20	20	20

② 1/4壁内柱セット

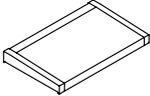
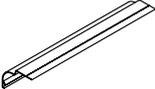
名 称	略 図	員 数			
		H2100		H2300	
		標 準	ロ ング	標 準	ロ ング
支柱S		1	1	1	1
横材4		2	2	2	2
アンカー棒		1	1	1	1
②-① φ4×16ナベピアスネジ		4	4	4	4

③ 標準壁笠木セット

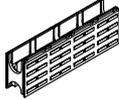
名 称	略 図	員 数
笠木W		1
笠木ベースW		1
水切り材W		1
雪除け板W		1
③-① φ4×16ナベピアスネジ		5
③-② φ4×25トラスタッピンネジ2種 G=5		8

■ 梱包明細表 つづき

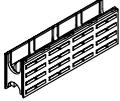
④ 1/4壁笠木セット

名 称	略 図	員 数
笠木S		1
笠木ベースS		1
水切り材S		1
④-① φ4×16ナベピアスネジ		2
④-② φ4×25トラスタッピンネジ2種 G=5		4

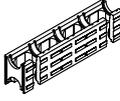
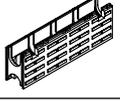
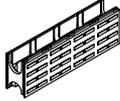
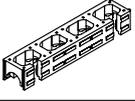
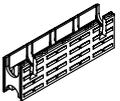
⑤ タイル用基準ブロック

名 称	略 図	員 数	
		1段	4段
タイル用基準ブロック		1	4

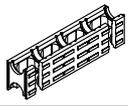
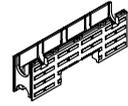
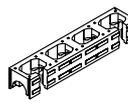
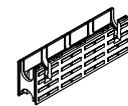
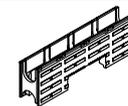
⑥ GBタイル用基準ブロック

名 称	略 図	員 数
タイル用基準ブロック		1
タイル用GBブロックA		4

⑦ タイル用調整基準ブロック

名 称	略 図	員 数	
		H2100	H2300
H21タイル用調整ブロック上		1	—
H21タイル用調整ブロック下		1	—
タイル用基準ブロック		—	1
H23タイル用調整ブロック上		—	1
H23タイル用調整ブロック下		—	1

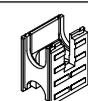
⑧GBタイル用調整基準ブロック

名 称	略 図	員 数	
		H2100	H2300
H21タイル用調整ブロック上		1	—
H21タイル用GBブロックB		1	—
H23タイル用調整ブロック上		—	1
H23タイル用調整ブロック下		—	1
H23タイル用GBブロックB		—	1

⑨タイル用1/4ブロック

名 称	略 図	員 数	
		1段	4段
タイル用1/4ブロック		1	4

⑩タイル用調整1/4ブロック

名 称	略 図	員 数	
		1段	4段
H21タイル用調整1/4ブロック上		1	—
H21タイル用調整1/4ブロック下		1	—
タイル用1/4ブロック		—	1
H23タイル用調整1/4ブロック上		—	1
H23タイル用調整1/4ブロック下		—	1

■梱包明細表 つづき

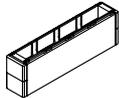
11 タイル用小口ふさぎ

名 称	略 図	員 数	
		1段	4段
タイル用小口ふさぎA		2	8
タイル用小口ふさぎB		2	8

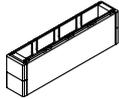
12 タイル用調整小口ふさぎ

名 称	略 図	員 数	
		H2100	H2300
タイル用小口ふさぎA		4	6
タイル用小口ふさぎB		2	4
タイル用調整小口ふさぎB		2	—

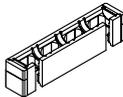
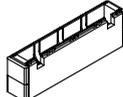
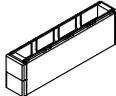
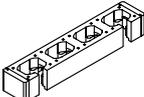
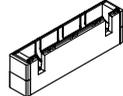
13 塗り用基準ブロック

名 称	略 図	員 数
塗り用基準ブロック1		3

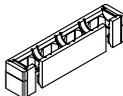
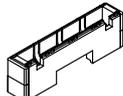
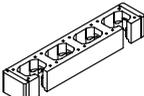
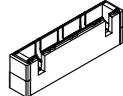
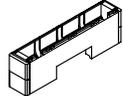
14 GB塗り用基準ブロック

名 称	略 図	員 数
塗り用基準ブロック1		1
塗り用GBブロックA1		4

15 塗り用調整基準ブロック

名 称	略 図	員 数	
		H2100	H2300
H21塗り用調整ブロック上・1		1	—
H21塗り用調整ブロック下・1		1	—
塗り用基準ブロック1		—	1
H23塗り用調整ブロック上・1		—	1
H23塗り用調整ブロック下・1		—	1

16 GB塗り用調整基準ブロック

名 称	略 図	員 数	
		H2100	H2300
H21塗り用調整ブロック上・1		1	—
H21塗り用GBブロックB・1		1	—
H23塗り用調整ブロック上・1		—	1
H23塗り用調整ブロック下・1		—	1
H23塗り用GBブロックB・1		—	1

17 塗り用1/4ブロック

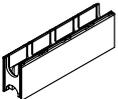
名 称	略 図	員 数
塗り用1/4ブロック1		3

■梱包明細表 つづき

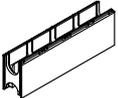
18 塗り用調整1/4ブロック

名 称	略 図	員 数	
		H2100	H2300
H21 塗り用調整1/4ブロック上・1		1	—
H21 塗り用調整1/4ブロック下・1		1	—
塗り用1/4ブロック1		—	1
H23 塗り用調整1/4ブロック上・1		—	1
H23 塗り用調整1/4ブロック下・1		—	1

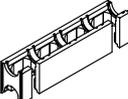
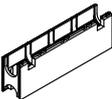
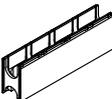
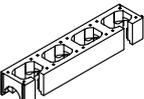
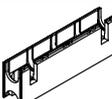
19 塗り用基準ブロック・小口なし

名 称	略 図	員 数
塗り用基準ブロック2		3

20 GB塗り用基準ブロック・小口なし

名 称	略 図	員 数
塗り用基準ブロック2		1
塗り用GBブロックA・2		4

21 塗り用調整基準ブロック・小口なし

名 称	略 図	員 数	
		H2100	H2300
H21 塗り用調整ブロック上・2		1	—
H21 塗り用調整ブロック下・2		1	—
塗り用基準ブロック2		—	1
H23 塗り用調整基準ブロック上・2		—	1
H23 塗り用調整基準ブロック下・2		—	1

22GB塗り用調整基準ブロック・小口なし

名 称	略 図	員 数	
		H2100	H2300
H21塗り用調整ブロック上・2		1	—
H21塗り用GBブロックB・2		1	—
H23塗り用調整ブロック上・2		—	1
H23塗り用調整ブロック下・2		—	1
H23塗り用GBブロックB・2		—	1

23塗り用1/4ブロック・小口なし

名 称	略 図	員 数
塗り用1/4ブロック2		3

24塗り用調整1/4ブロック・小口なし

名 称	略 図	員 数	
		H2100	H2300
H21塗り用調整1/4ブロック上・2		1	—
H21塗り用調整1/4ブロック下・2		1	—
塗り用1/4ブロック2		—	1
H23塗り用調整1/4ブロック上・2		—	1
H23塗り用調整1/4ブロック下・2		—	1

25二丁掛タイル

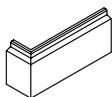
名 称	略 図	員 数
二丁掛タイル		56

26曲右タイル

名 称	略 図	員 数
曲右タイル		48

■梱包明細表 つづき

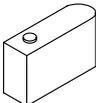
27曲左タイル

名 称	略 図	員 数
曲左タイル		48

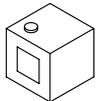
28ファイバーテープ

名 称	略 図	員 数
ファイバーテープ		1

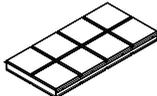
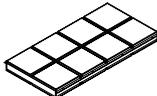
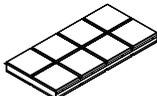
29シーラー剤

名 称	略 図	員 数
シーラー剤		1

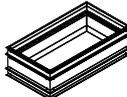
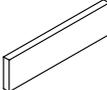
30表面仕上げ材

名 称	略 図	員 数	
		10kg	20kg
表面仕上げ材		1	—
表面仕上げ材		—	1

33ガラスブロック

名 称	略 図	員 数		
		A	B	C
ガラスブロックA		1	—	—
ガラスブロックB		—	1	—
ガラスブロックC		—	—	1

34ガラスブロック枠セット

名 称	略 図	員 数	
		塗り用	タイル用
ガラスブロック枠材		1	1
バックアップ材		4	4
シーリング材		1	1
34-① φ4×16ナベピアスネジ		6	6

31下地調整材

名 称	略 図	員 数
主材		1
硬化材		1
取付説明書	—	1

32接着剤

名 称	略 図	員 数	
		3本入	10本入
接着剤		3	10

35壁木側枠セット

名 称	略 図	員 数			
		H2100		H2300	
		標 準	ロング	標 準	ロング
木側枠		2	2	2	2
35-① φ4×45サラピアスネジ		12	12	12	12

36壁木側枠ベースセット

名 称	略 図	員 数			
		H2100		H2300	
		標 準	ロング	標 準	ロング
木調側枠ベース		2	2	2	2
36-① φ4×19ナベピアスネジ		4	4	4	4

37塗り幕板

名 称	略 図	員 数
塗り幕板		1

38ウッド幕板

名 称	略 図	員 数
ウッド幕板		1

39塗り幕板端部キャップセット

名 称	略 図	員 数
幕板端部キャップ塗り用左		1
幕板端部キャップ塗り用右		1
39-① φ4×16サラピアスネジ		3

40ウッド幕板端部キャップセット

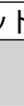
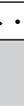
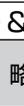
名 称	略 図	員 数
幕板端部キャップウッド用左		1
幕板端部キャップウッド用右		1
40-① φ4×30サラピアスネジ		5

41前面幕板固定金具セット・塗り&タイル用

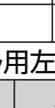
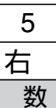
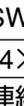
名 称	略 図	員 数
前面幕板固定金具 塗り&タイル用左		1
前面幕板固定金具 塗り&タイル用右		1
幕板固定ボルト裏板		4
41-① M8×20六角ボルト (PW+SW)		4
41-② φ4×25ナベ タッピンネジ2種 G=5		5
41-③ φ4×16サラピアスネジ		5

■ 梱包明細表 つづき

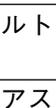
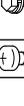
42 前面幕板固定金具セット・ウッド用

名称	略図	員数
前面幕板固定金具 ウッド用左		1
前面幕板固定金具 ウッド用右		1
42-① φ6×25六角タッピンネジ1種		4
42-② φ4×25ナベ タッピンネジ2種 G=5		5
42-③ φ4×16ナベピアスネジ		9
42-④ φ4×20ナベ特殊ネジ		5

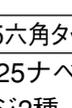
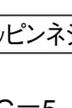
43 前面幕板固定金具セット・塗り&タイル用左・右

名称	略図	員数	
		左用	右用
前面幕板固定金具 塗り&タイル用左		1	—
前面幕板固定金具 塗り&タイル用右		—	1
幕板固定ボルト裏板		2	2
43-① M8×20六角ボルト (PW+SW)		2	2
43-② φ4×25ナベ タッピンネジ2種 G=5		2	2
43-③ φ4×16サラピアスネジ		2	2

44 前面幕板固定金具セット・ウッド用左・右

名称	略図	員数	
		左用	右用
前面幕板固定金具 ウッド用左		1	—
前面幕板固定金具 ウッド用右		—	1
44-① φ6×25六角タッピンネジ1種		2	2
44-② φ4×25ナベ タッピンネジ2種 G=5		2	2
44-③ φ4×16サラピアスネジ		4	4
44-④ φ4×20ナベ特殊ネジ		2	2

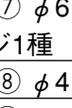
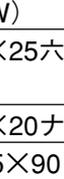
45 幕板L連結金具セット・塗り用

名称	略図	員数	
		左	右
幕板L連結金具塗り用左		1	—
幕板L連結金具塗り用右		—	1
幕板固定ボルト裏板		2	2
45-① M8×20六角ボルト (PW+SW)		2	2
45-② φ4×16ナベピアスネジ		5	5

46 幕板L連結金具セット・ウッド用

名称	略図	員数
幕板L連結金具ウッド用		1
46-① φ6×25六角タッピンネジ1種		4
46-② φ4×20ナベ特殊ネジ		5

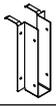
47 パーゴラ桁ブラケットセット

名称	略図	員数	
		標準用	連棟用
パーゴラ桁ブラケット		1	1
ブラケット固定材		1	1
47-① M8×25六角ボルト		4	4
47-② M8バネ座金		4	4
47-③ M8平座金		4	4
47-④ 六角Uナット		4	4
47-⑤ φ4×19ナベピアスネジ		5	1
47-⑥ M8×20六角ボルト (PW+SW)		4	4
47-⑦ φ6×25六角タッピン ネジ1種		2	4
47-⑧ φ4×20ナベ特殊ネジ		2	4
47-⑨ φ4.5×90フレキ付 コーススレッド		10	10
47-⑩ 取付説明書<E134>	—	1	—
47-⑪ 取扱説明書<UE025>	—	1	—

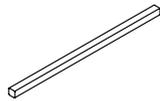
48パーゴラ桁セット

名 称	略 図	員 数	
		2本入	3本入
パーゴラ桁		2	3

49パーゴラ桁・垂木連結金具セット

名 称	略 図	員 数
桁連結金具		1
49-① φ4×20ナベ特殊ネジ		9

50キャンピーフ中骨セット

名 称	略 図	員 数
中骨取付金具		2
中骨		1
50-① φ4×20ナベ特殊ネジ		9

INDEX

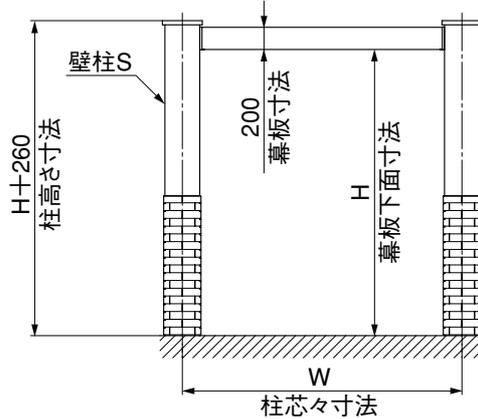
1 基本寸法と各部名称	15
1. 基本寸法	15
1-1 壁柱S仕様 正面基本寸法	15
1-2 壁柱W仕様 正面基本寸法	15
1-3 壁柱仕様 側面基本寸法	16
1-4 連結仕様 平面基本寸法	17
1-5 独立仕様 平面基本寸法	17
2. 各部名称	18
2-1 連結仕様	18
2-2 独立仕様	19
2 柱の位置出し	20
1. 柱の位置出し	20
3 本体の施工	21
1. 垂木掛けの取付け	21
2. 基礎工事と配管工事	22
3. 柱の建て込み	23
4. LEDフットライトの取付け オプション	24
5. 発泡ブロックの組付け	25
6. ブラケット固定材の取付け	29
7. 木側枠の取付け	30
8. 笠木ベースの取付け	31
9. ガラスブロックの取付け	32
10. ブラケット固定材まわりの壁柱の仕上げ	33
11. 桁の取付け	34
12. 垂木・中骨の取付け	36
13. 基礎部コンクリートの打設	37
14. タイルの張付け	38
15. 表面仕上げ材の塗布	39
16. 前面幕板の取付け	40
17. 幕板のL連結	42
18. 笠木の取付け	43

1 基本寸法と各部名称

1. 基本寸法

1-1 壁柱S仕様 正面基本寸法

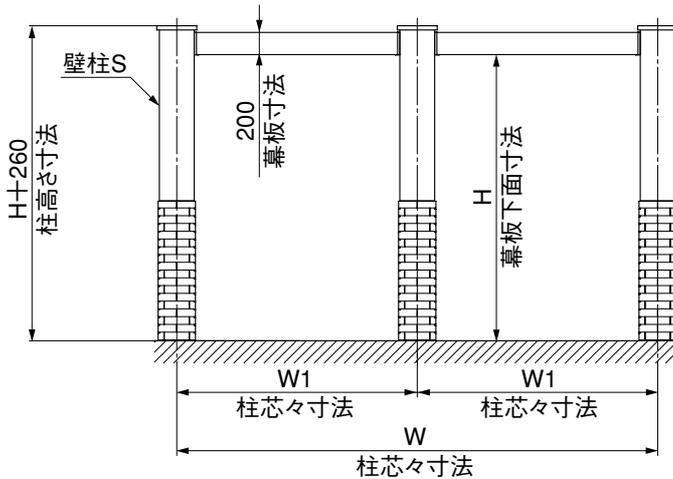
(1) 間口1.5間・2.0間



呼称	H
H2100用	2380
H2100ロング用	2660
H2300用	2580
H2300ロング用	2860

呼称	W	W1
1.5間	2500	—
2.0間	3400	—

(2) 間口2.5間・3.0間

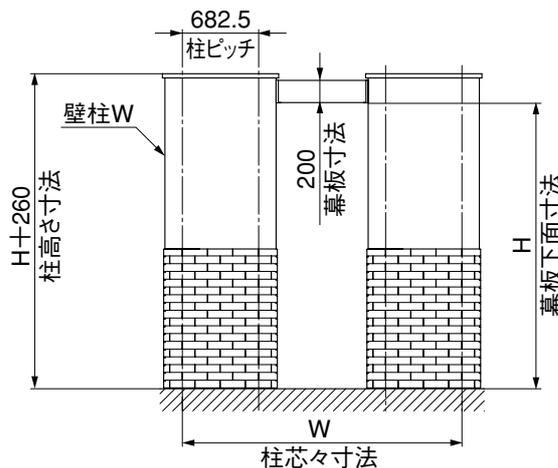


呼称	H
H2100用	2380
H2100ロング用	2660
H2300用	2580
H2300ロング用	2860

呼称	W	W1
2.5間	4300	2150
3.0間	6100	3050

1-2 壁柱W仕様 正面基本寸法

(1) 間口1.5間・2.0間



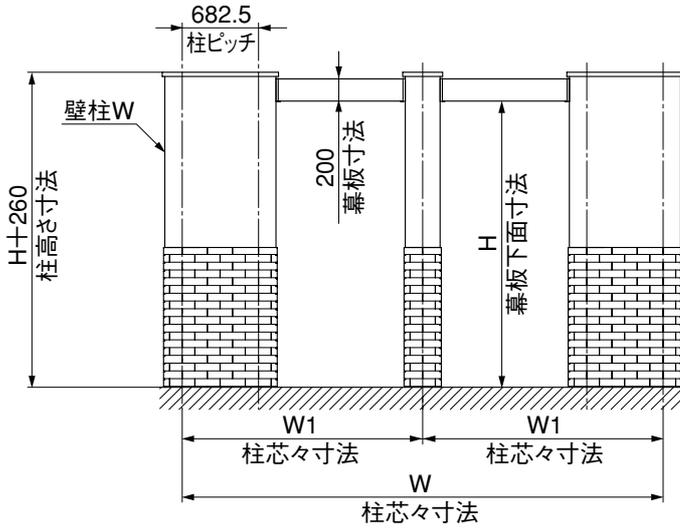
呼称	H
H2100用	2380
H2100ロング用	2660
H2300用	2580
H2300ロング用	2860

呼称	W	W1
1.5間	2500	—
2.0間	3400	—

1. つづき

1-2 つづき

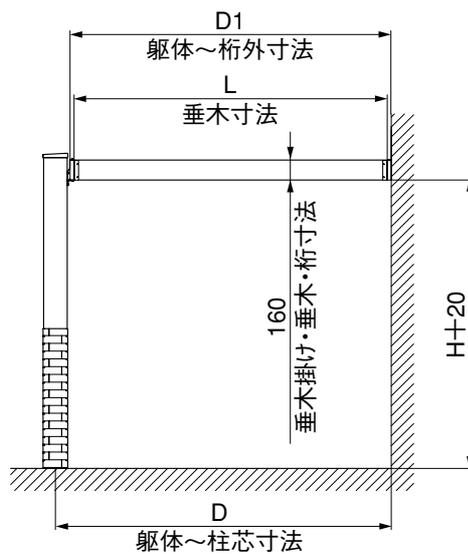
(2) 間口2.5間・3.0間



呼称	H
H2100用	2380
H2100ロング用	2660
H2300用	2580
H2300ロング用	2860

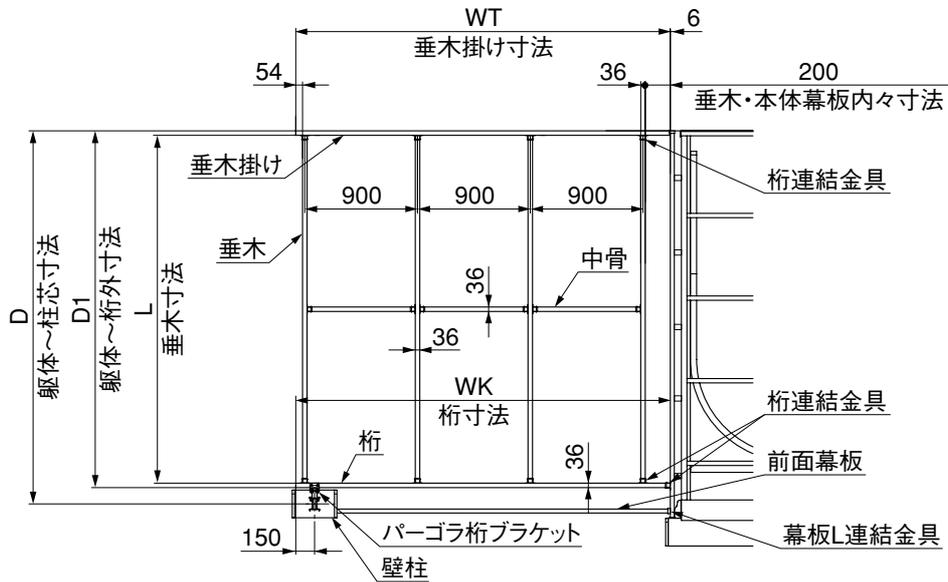
呼称	W	W1
2.5間	4300	2150
3.0間	6100	3050

1-3 壁柱仕様 側面基本寸法



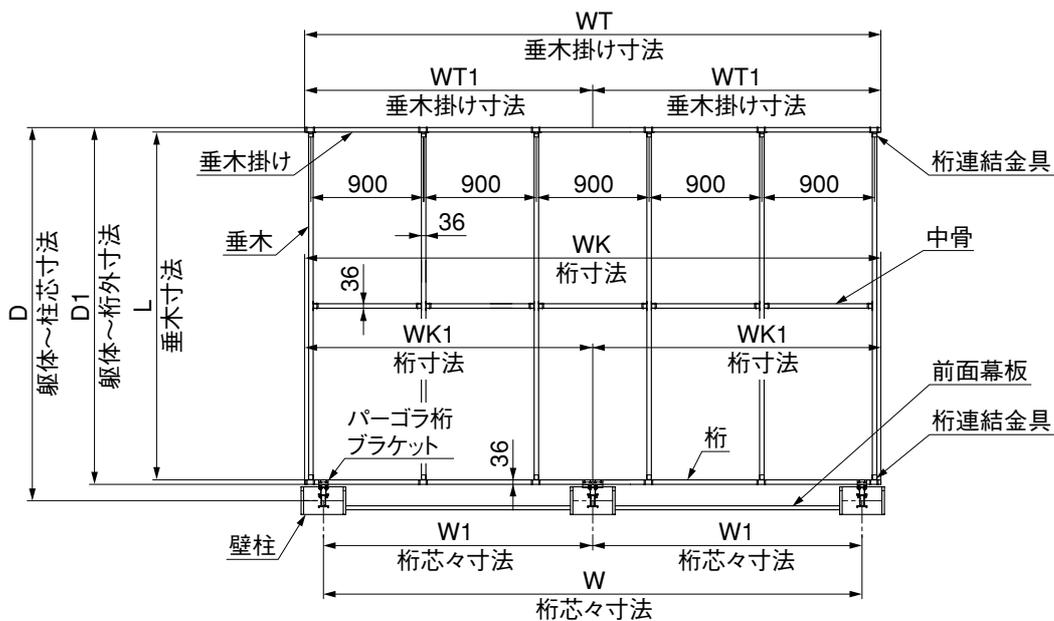
呼称	H
H2100用	2380
H2100ロング用	2660
H2300用	2580
H2300ロング用	2860

呼称	D	D1	L
4尺	1503	1372	1300
7尺	2403	2272	2200
9尺	3003	2872	2800
12尺	3903	3772	3700

1-4 連結仕様 平面基本寸法 ※図は1.5間タイプを示します。


呼称	D	D1	L
4尺	1503	1372	1300
7尺	2403	2272	2200
9尺	3003	2872	2800
12尺	3903	3772	3700

呼称	WT	WK
1.5間	2084	2090
2.0間	2984	2990

1-5 独立仕様 平面基本寸法 ※図は2.5間タイプを示します。


呼称	D	D1	L
4尺	1503	1372	1300
7尺	2403	2272	2200
9尺	3003	2872	2800
12尺	3903	3772	3700

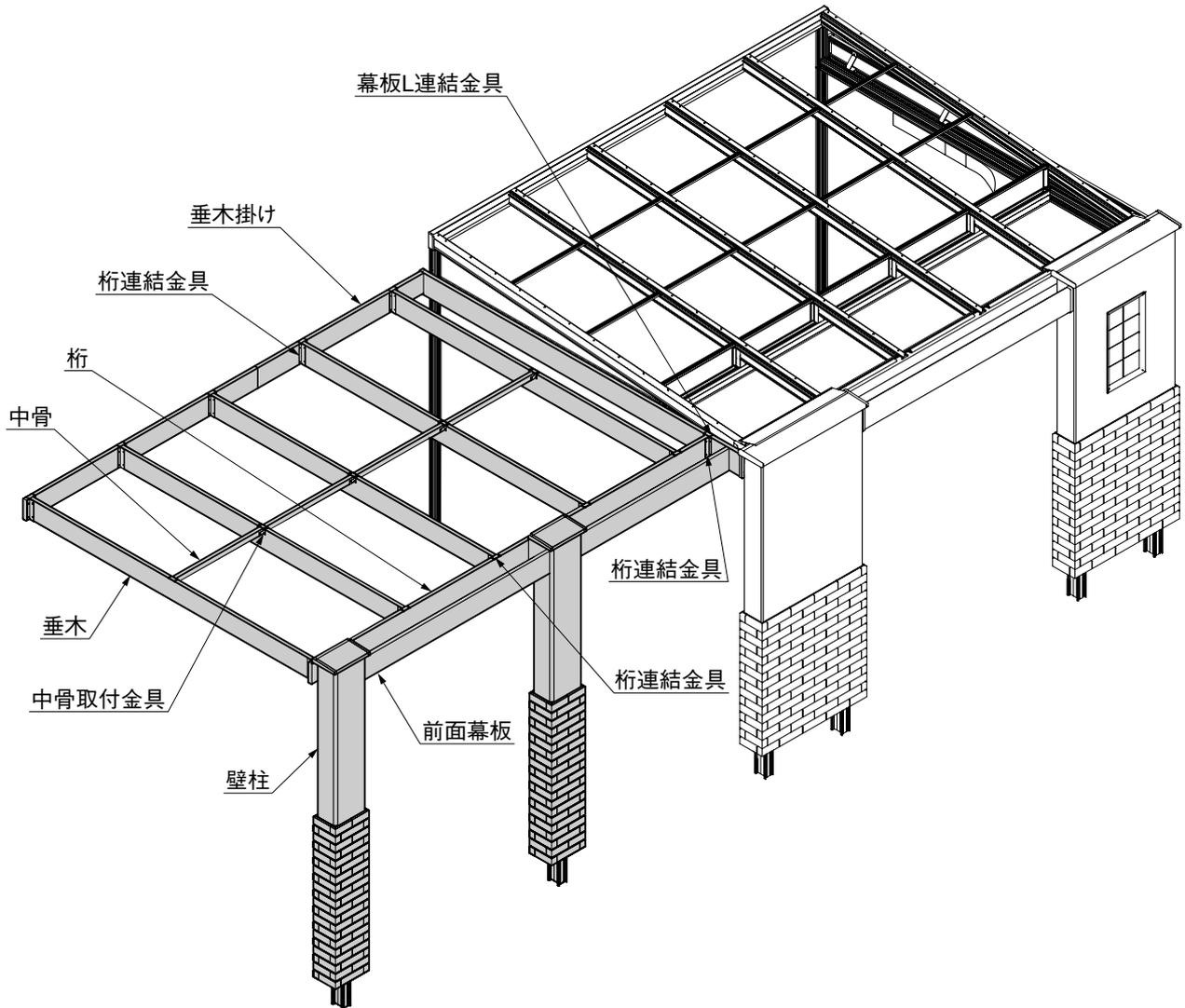
呼称	W	W1	WT	WT1	WK	WK1
1.5間	2500	—	2800	—	2800	—
2.0間	3400	—	3700	—	3700	—
2.5間	4300	2150	4600	2300	4600	2300
3.0間	6100	3050	6400	3200	6400	3200

2. 各部名称

2-1 連結仕様

※図は2.5間タイプを示します。

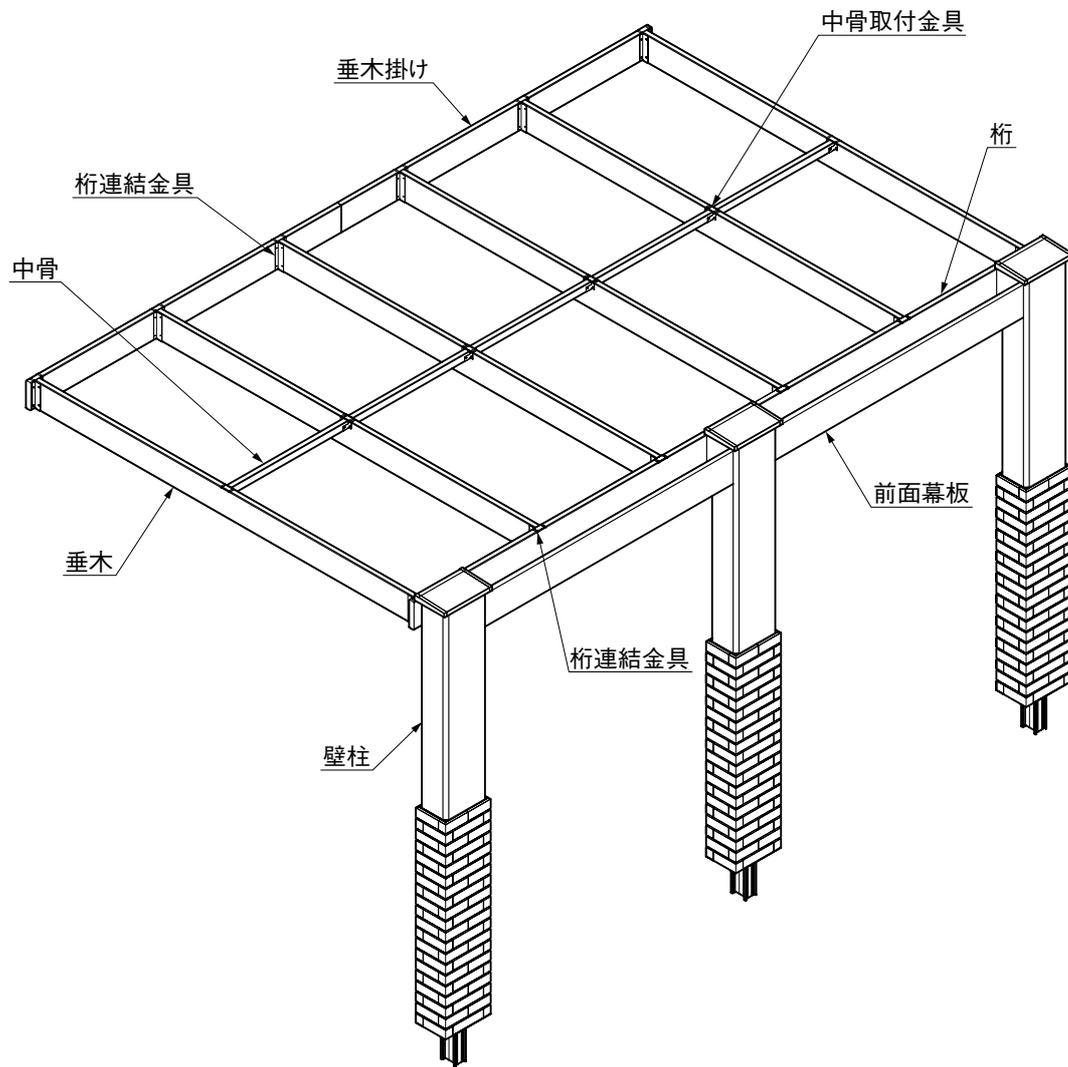
※図の名称のうち「桁」「垂木」「垂木掛け」は、梱包明細で示す「パーゴラ桁」を使用してください。



2-2 独立仕様

※図は2.5間タイプを示します。

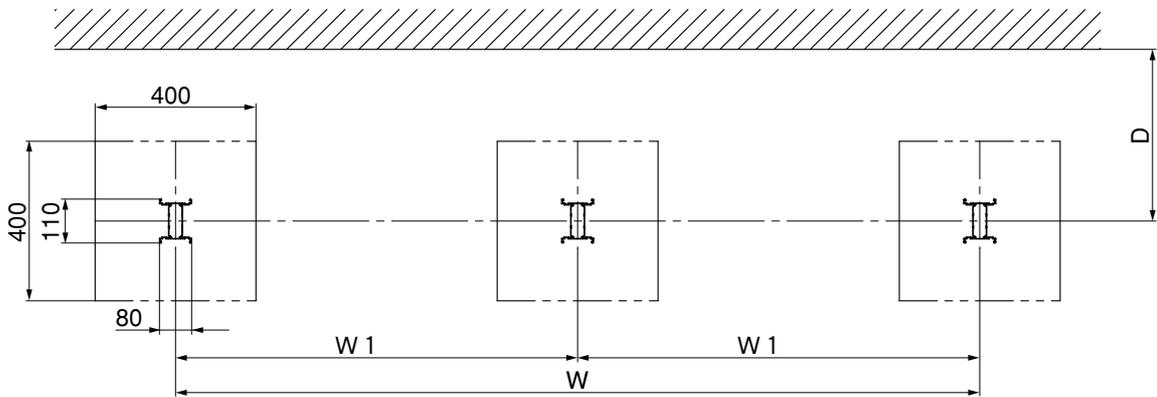
※図の名称のうち「桁」「垂木」「垂木掛け」は、梱包明細で示す「パーゴラ桁」を使用してください。



2 柱の位置出し

1. 柱の位置出し

1-1 壁柱Sの場合



寸法 間口	W	W1
1.5間	2500	—
2.0間	3400	—
2.5間	4300	2150
3.0間	6100	3050

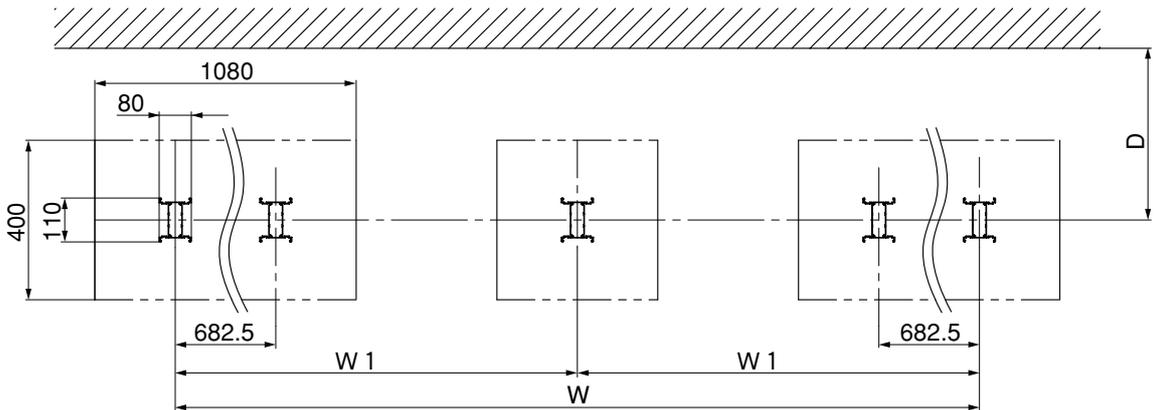
寸法 出幅	D
4尺	1503
7尺	2403
9尺	3003
12尺	3903

① 図のように柱の位置を出してください。

ポイント

- 連棟の場合は、連棟部に必ず柱がくるようにしてください。

1-2 壁柱Wの場合



寸法 間口	W	W1
1.5間	2500	—
2.0間	3400	—
2.5間	4300	2150
3.0間	6100	3050

寸法 出幅	D
4尺	1503
7尺	2403
9尺	3003
12尺	3903

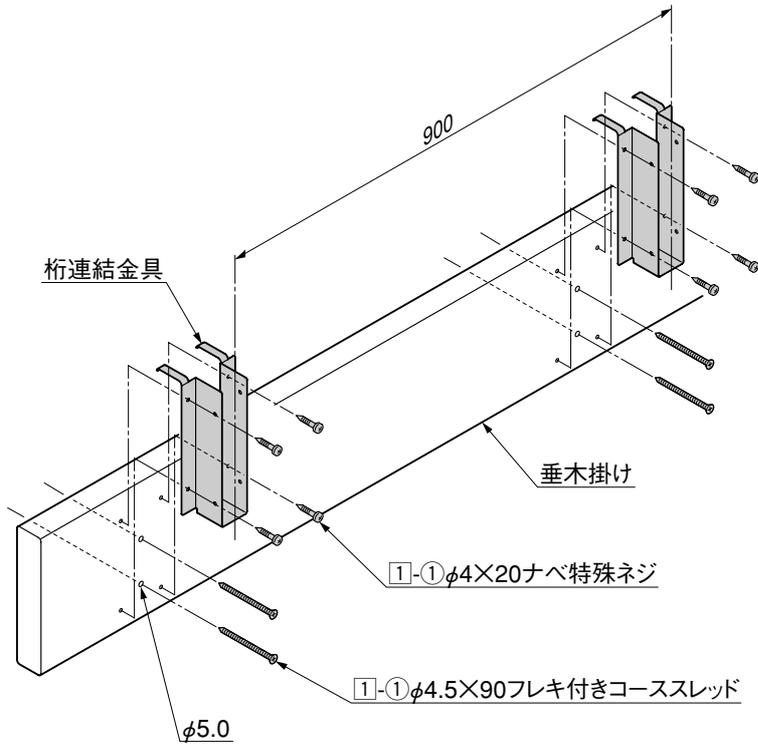
① 図のように柱の位置を出してください。

ポイント

- 連棟の場合は、連棟部に必ず柱がくるようにしてください。

3 本体の施工

1. 垂木掛けの取付け



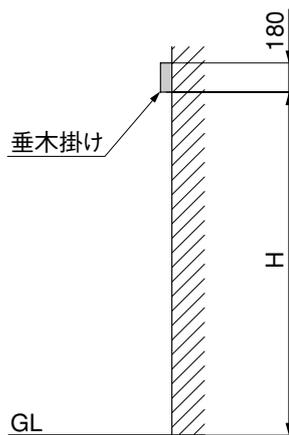
① 図のように取付けてください。

ポイント

- 垂木ピッチが900mmになるように取付けてください。

補足

- 図の垂木掛けは、パーゴラ桁を使用します。



② 図のように取付位置を決めてください。

ポイント

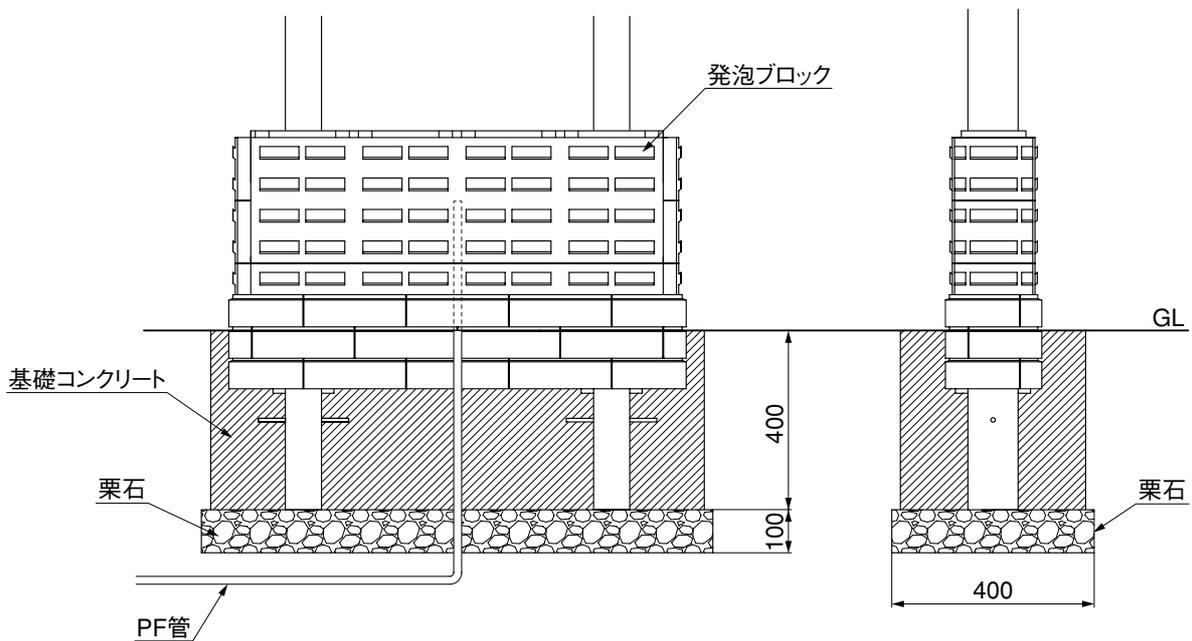
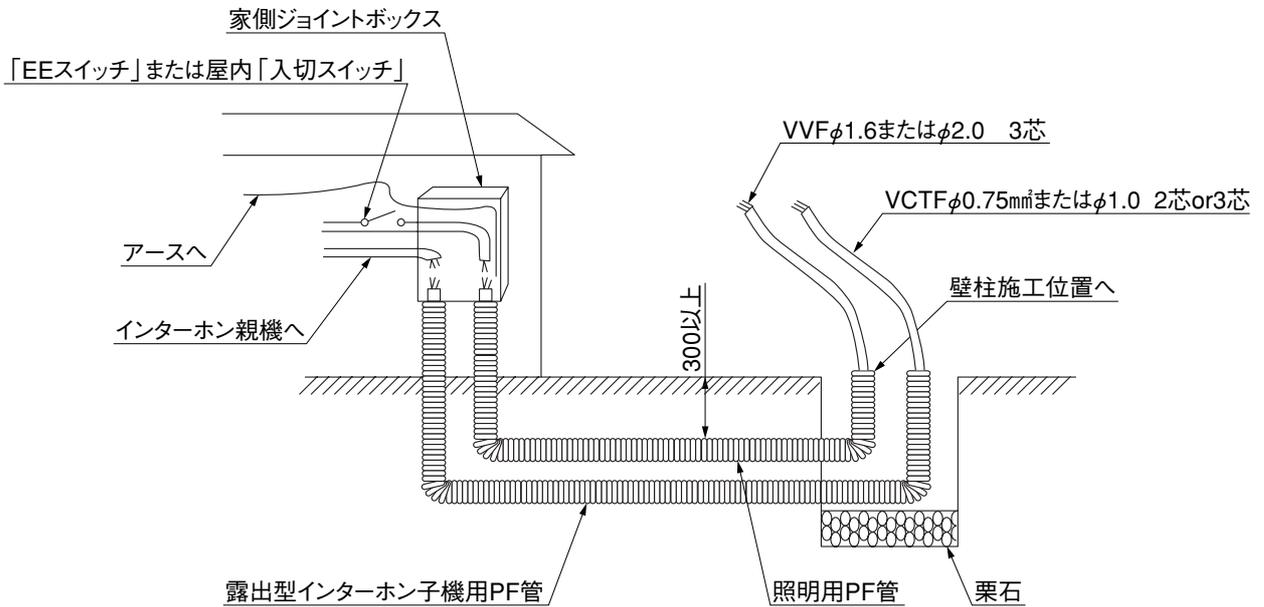
- テラスに連結する場合は、テラスの呼称寸法H1+20mmをH寸法にしてください。

表1-1 テラスに連結する場合の高さ寸法

寸法	H寸法
テラス高さ	
H2100用	2120
H2300用	2320

2. 基礎工事と配管工事

※配線工事、LEDフットライト・インターホン子機を取付ける場合の作業です。



① 図のように、配線配管をしてください。

ポイント

- PF管は現場で手配してください。

3. 柱の建て込み

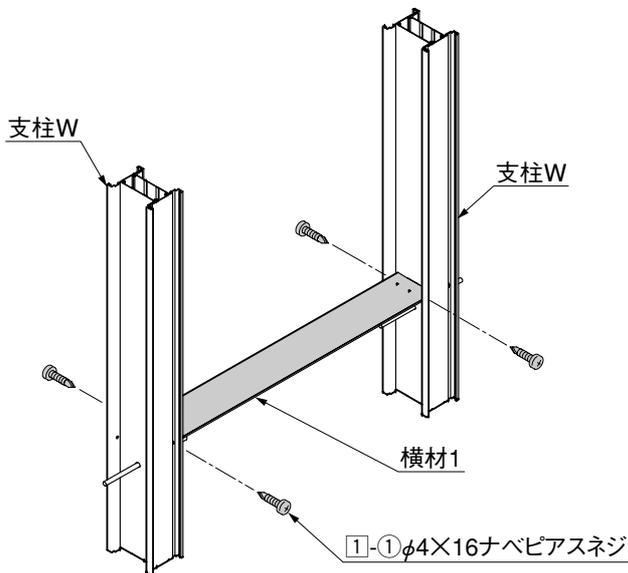
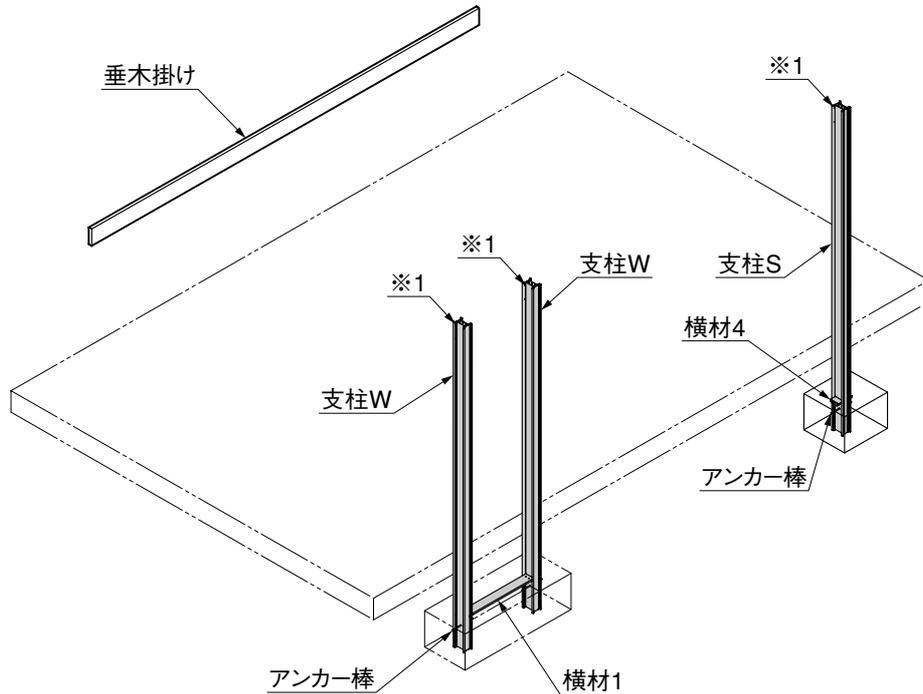


図3-1

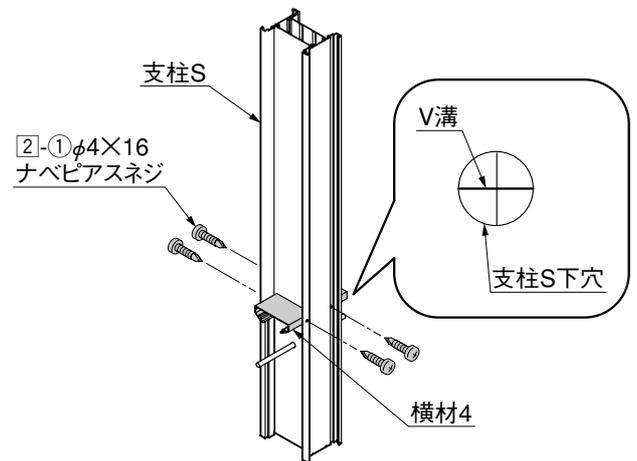


図3-2

🔑ポイント

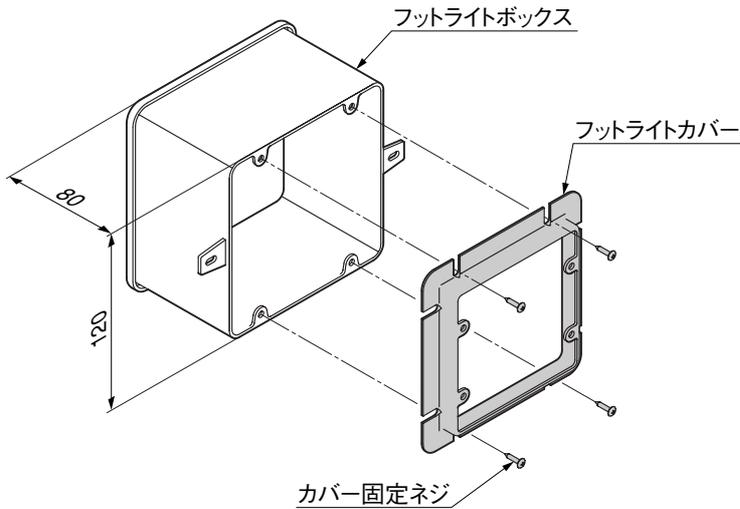
- 柱には上下、前後の区別があります。
- ブラケット固定材固定穴(※1)を躯体側に向けてください。
- 柱の切断は下側から行なってください。

① 支柱Wに横材1を①-①で取付けてください。(図3-1参照)

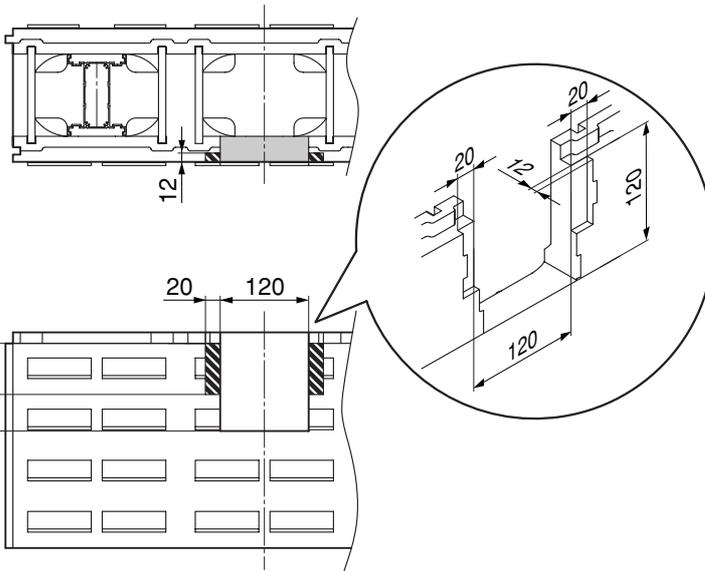
② 支柱Sに横材4を②-①で取付けてください。(図3-2参照)

4. LEDフットライトの取付け **オプション**

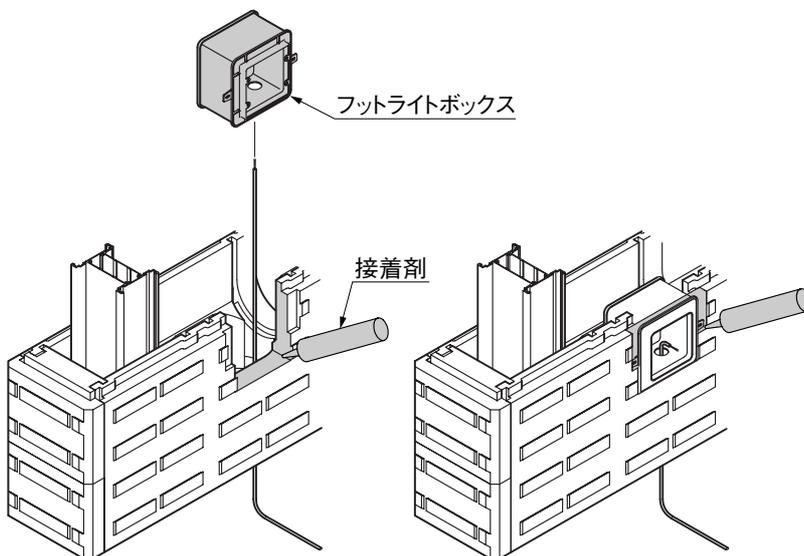
※LEDフットライトを取付ける場合の作業です。



- 1 フットライトボックスにフットライトカバーを、「カバー固定ネジ」で取付けてください。



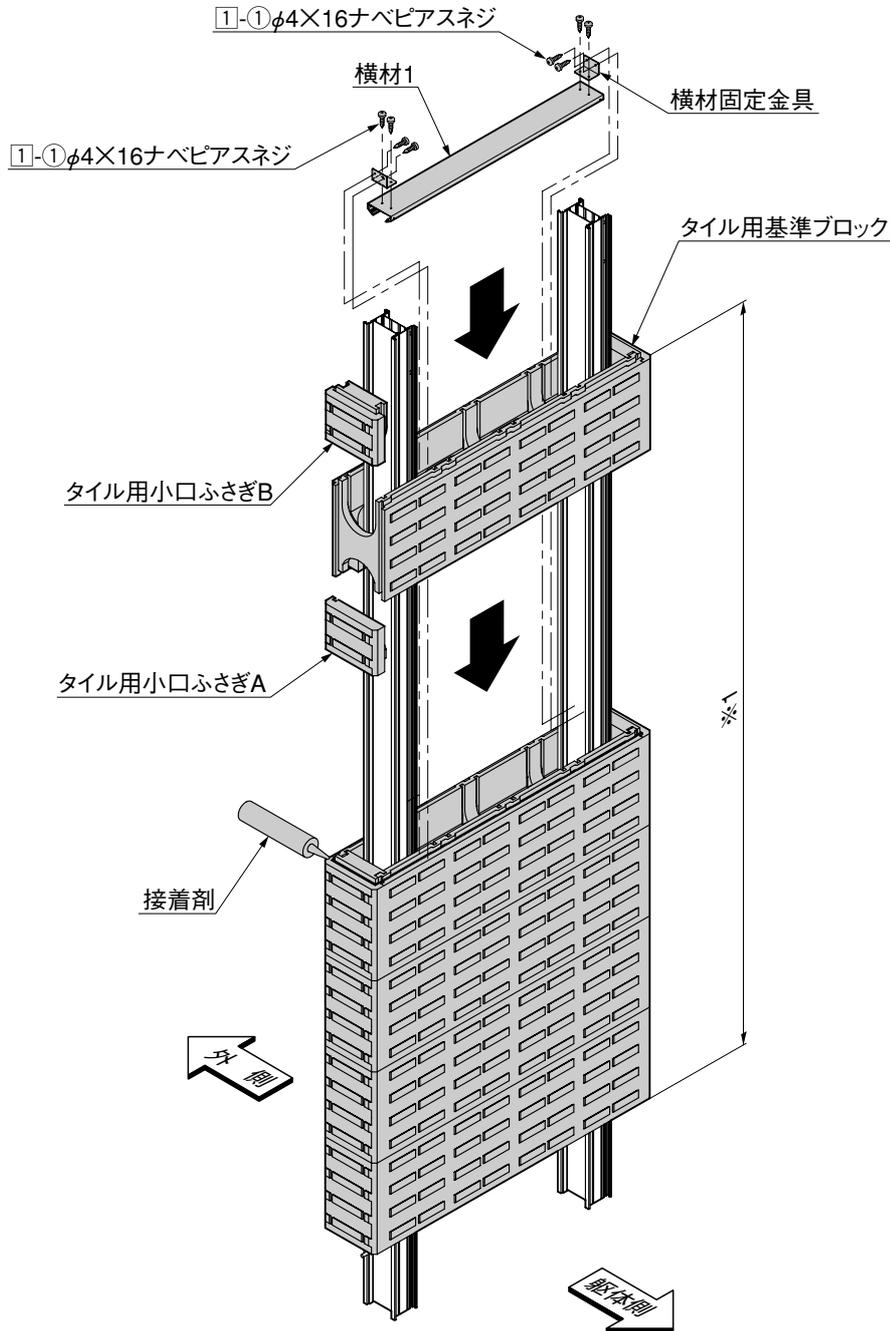
- 2 図を参照して、発泡ブロックを切欠いてください。



- 3 発泡ブロックの埋込穴の開口部の周囲に接着剤を塗布してください。
- 4 フットライトボックスの配線穴をノックアウトしてください。
- 5 発泡ブロックの埋込穴の開口部に埋込ボックスを差込み、接着剤をブロック凹部に充填固定してください。
- 6 LEDフットライトは、「LEDフットライト取付説明書(Z147)」にしたがって取付けてください。

5. 発泡ブロックの組付け

5-1 壁柱W下部の発泡ブロックの組付け ※収納庫を取付ける場合は、収納庫取付説明書(E140)「2.支柱Wへの部品の取付け」と同時に行なう作業です。



① 図のように組付けてください。

ポイント

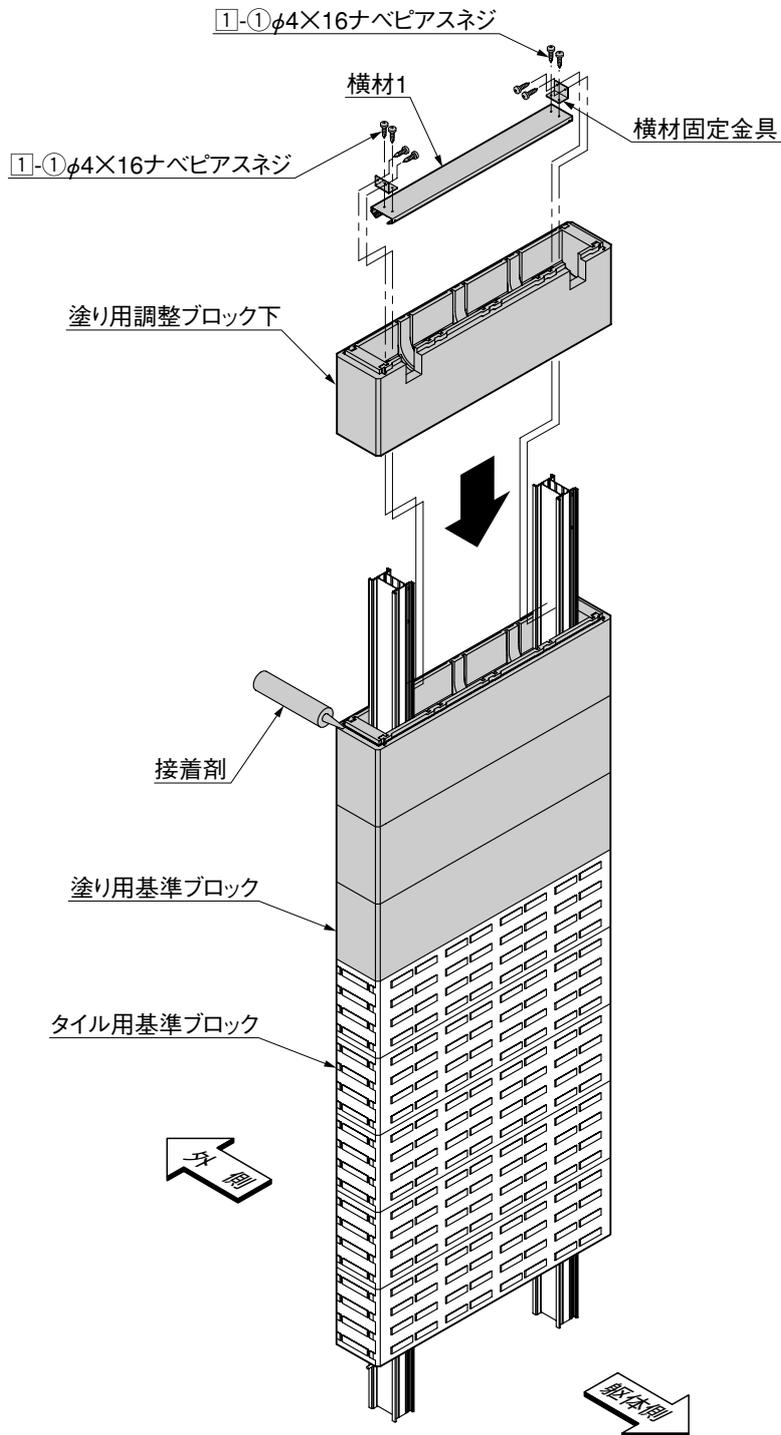
- 全てのブロックの接合面に接着剤を塗布してください。

補足

- 壁柱ウッドテイストの場合は、タイル用小口ふさぎAおよびタイル用小口ふさぎBの組付けはありません。
- H2100標準とH2300標準は5段、H2100ロングとH2300ロングは6段です。(※1)

5. つづき

5-2 壁柱W上部の発泡ブロックの組付け ※図は塗り&タイル仕様です。



① 図のように組付けてください。

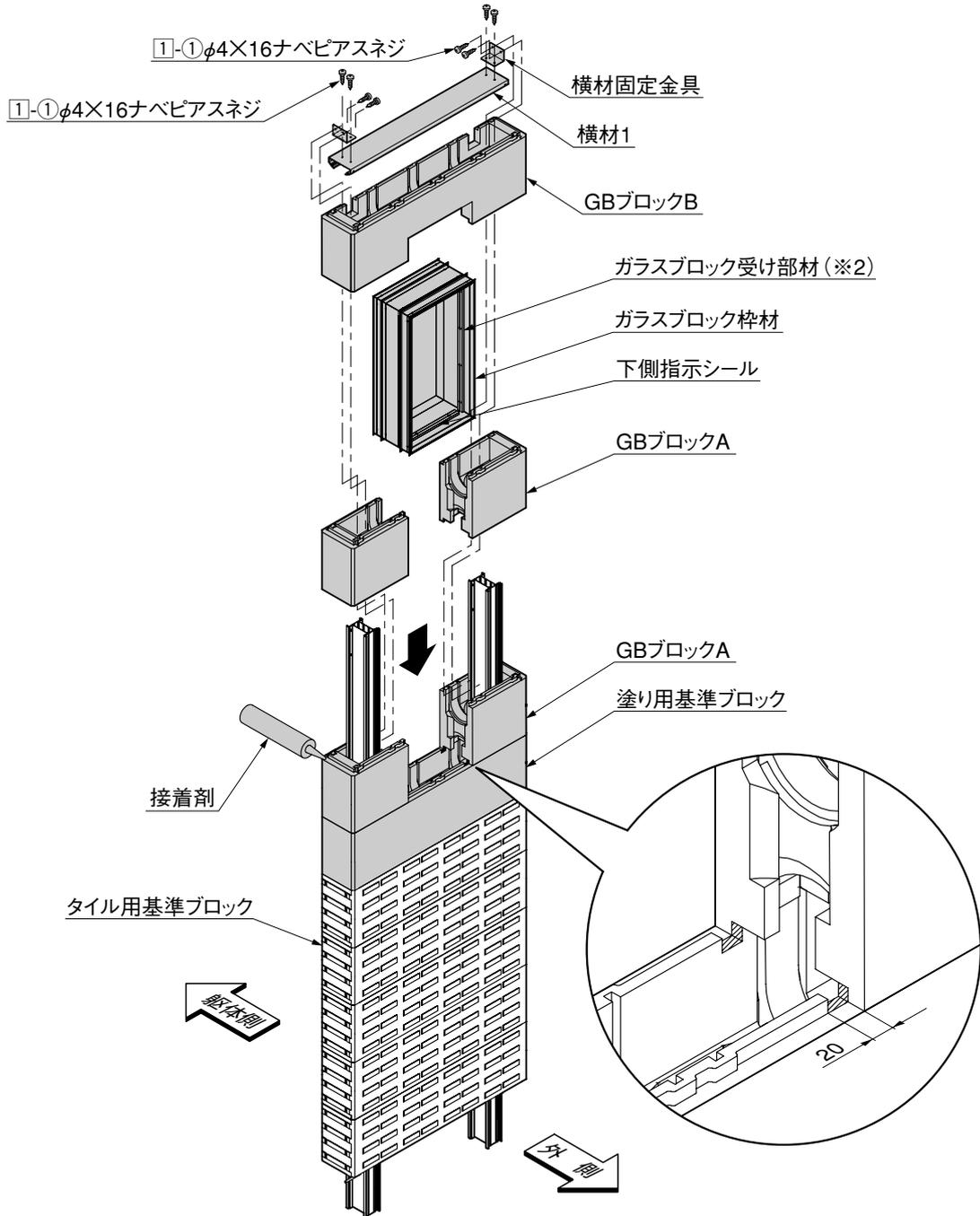
ポイント

- 全てのブロックの接合面に接着剤を塗布してください。

補足

- 壁柱ウッドテイストの場合の各基準ブロック、各調整ブロック下は小口ふさがりなしになります。

5-3 ガラスブロック付壁柱上部の発泡ブロックの組付け ※図は塗り&タイル仕様です。



- ① 図のように、発泡ブロックにカッター等で切り欠きをしてください。
- ② 図のように組付けてください。

ポイント

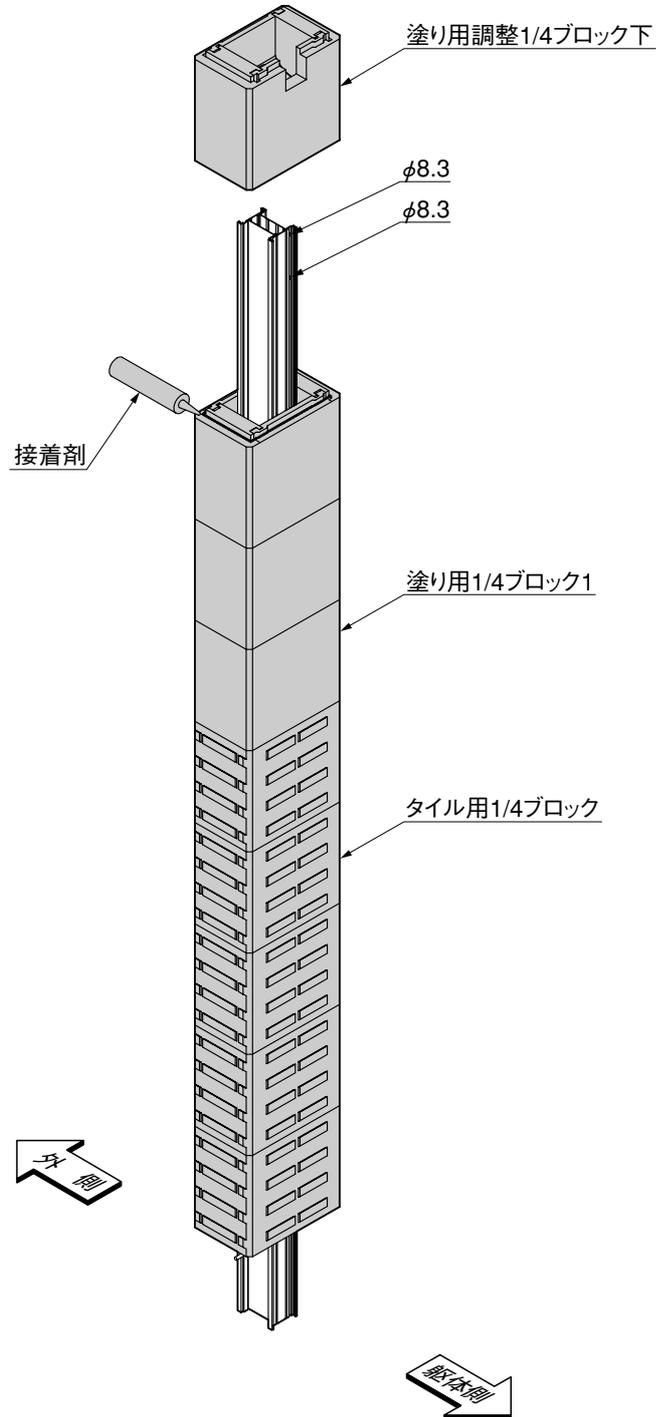
- 全てのブロックの接合面に接着剤を塗布してください。
- ガラスブロックには上下および、外側、躯体側の向きがあります。ガラスブロック受け部材が外側になるように取付けてください。(※2)

補足

- 壁柱ウッドテイストの場合の各基準ブロック、各GBブロックは小口ふさぎなしになります。

5. つづき

5-4 壁柱Sの発泡ブロックの組付け ※図は塗り&タイル仕様です。



① 図のように組付けてください。

ポイント

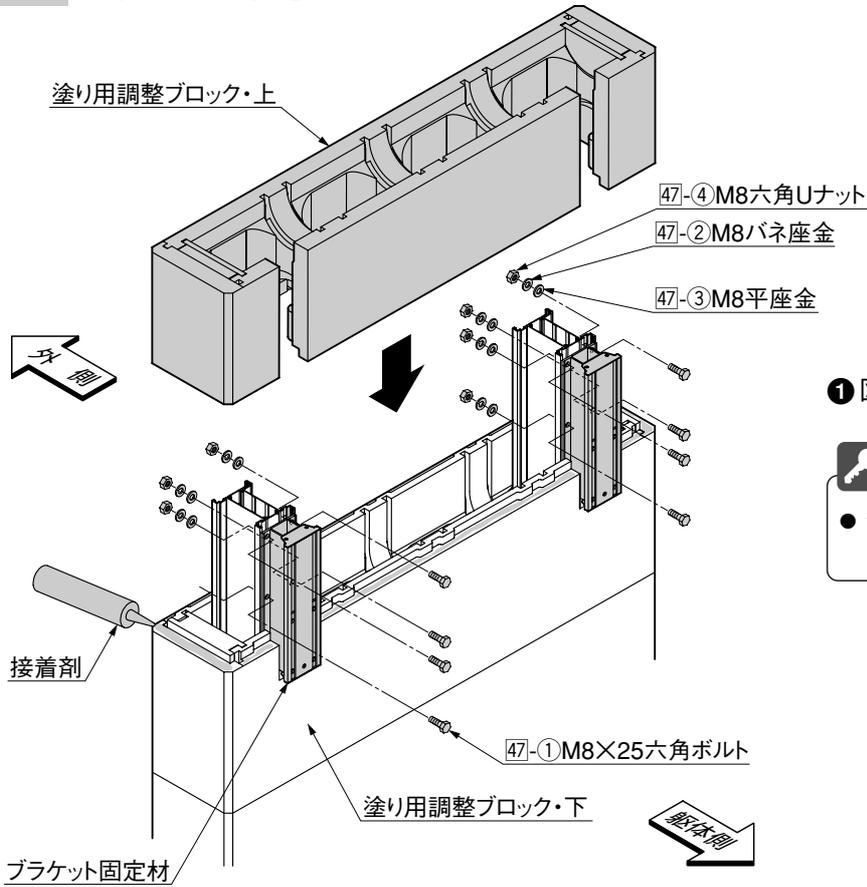
- 全てのブロックの接合面に接着剤を塗布してください。

補足

- 壁柱ウッドテイストの場合の各1/4ブロック、各調整1/4ブロック下は小口ふさがりなしになります。

6. ブラケット固定材の取付け ※図は塗り&タイル仕様です。

6-1 壁柱Wへの取付け

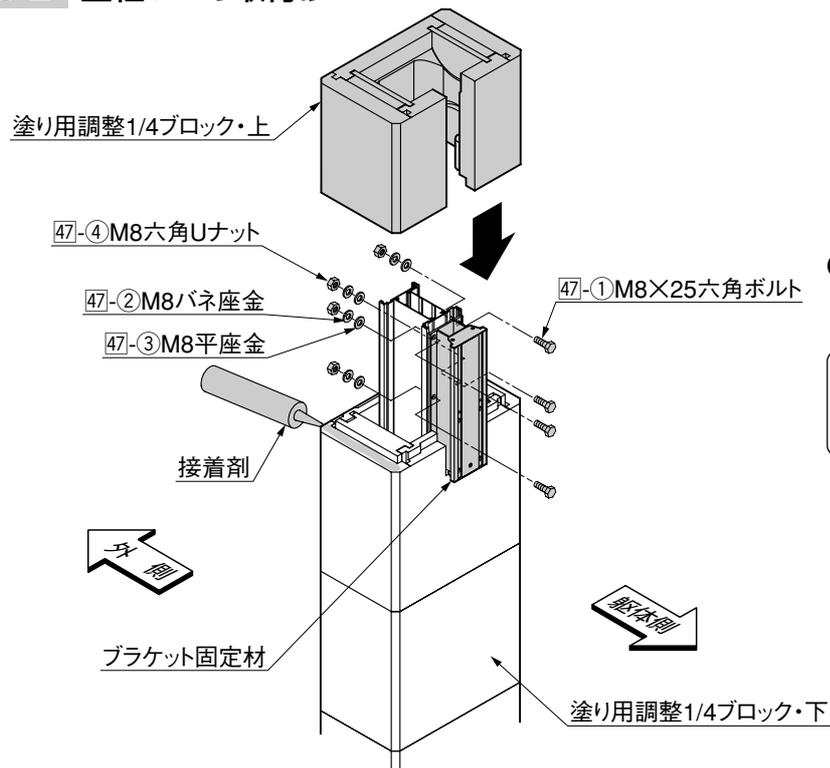


① 図のように取付けてください。

ポイント

- 全てのブロックの接合面に接着剤を塗付してください。

6-2 壁柱Sへの取付け



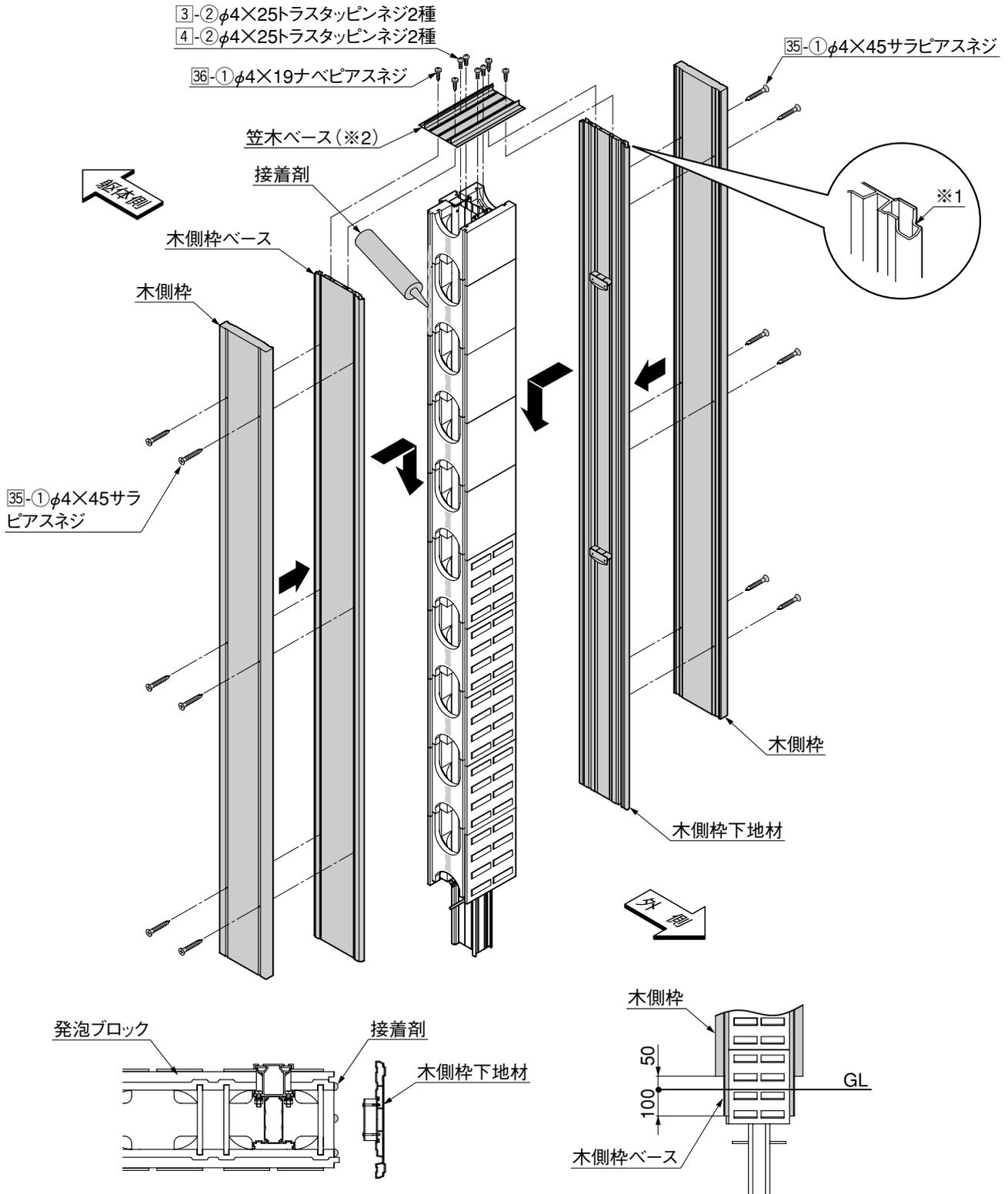
① 図のように取付けてください。

ポイント

- 全てのブロックの接合面に接着剤を塗付してください。

7. 木側枠の取付け

※壁柱がウッドテイストのときに行なう作業です。
 ※図は塗り&タイルウッドテイスト壁柱S仕様です。



① 図のように取付けてください。

ポイント

- 木側枠下地材には上下があります。木側枠下地材の端部に切り欠きがある方が上側です。(※1)
- 笠木ベースには外側、躯体側の向きがあります。「8.笠木ベースの取付け」を参照してください。(※2)

8. 笠木ベースの取付け ※図は塗り&タイル仕様です。

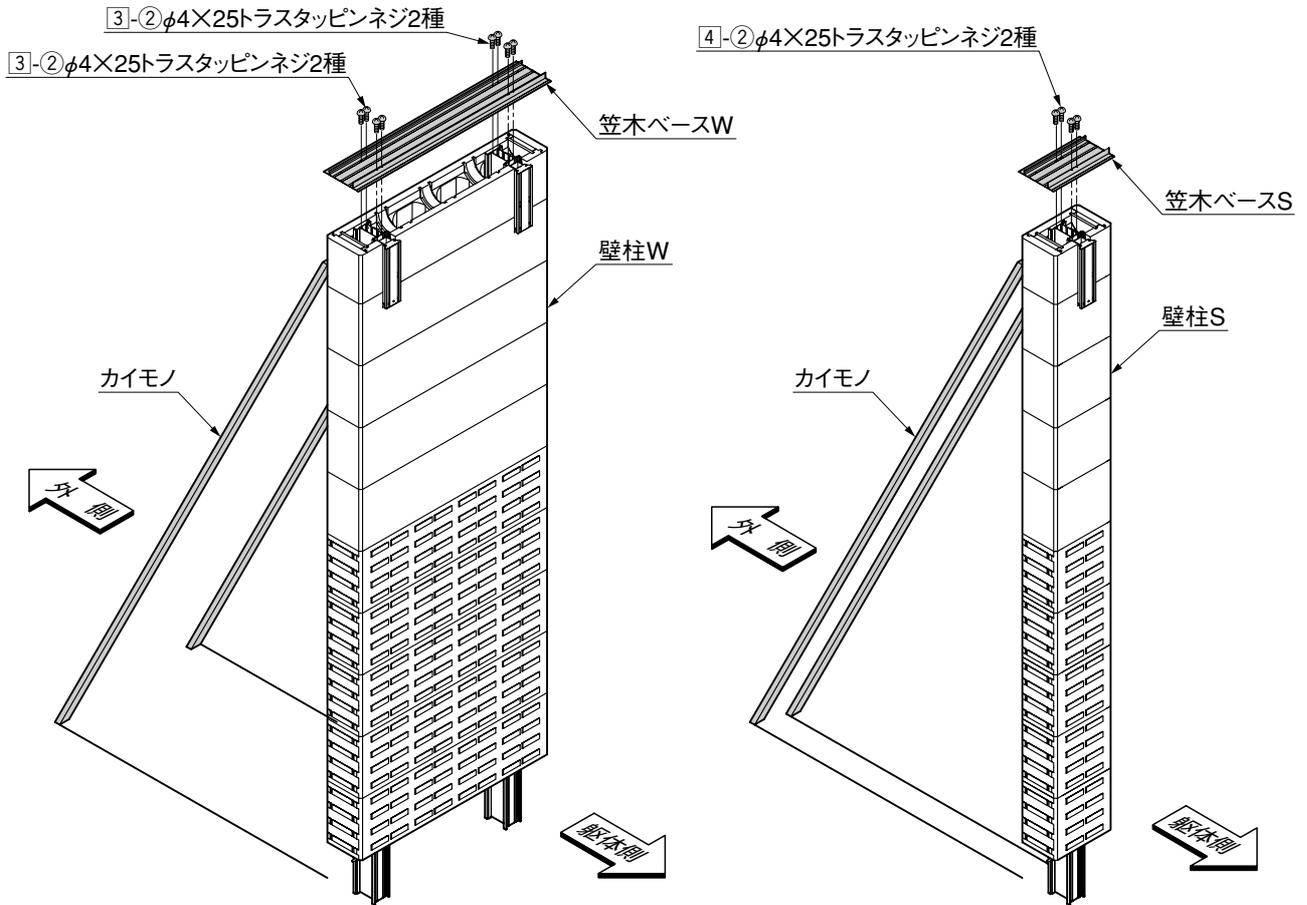


図8-1 壁柱Wの場合

図8-2 壁柱Sの場合

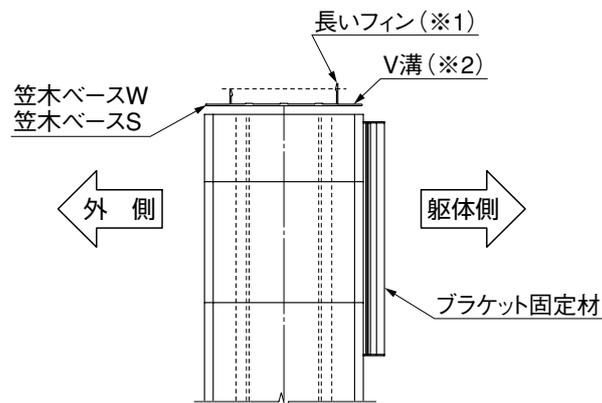


図8-3

❶ 図のように取付けてください。

🔑 ポイント

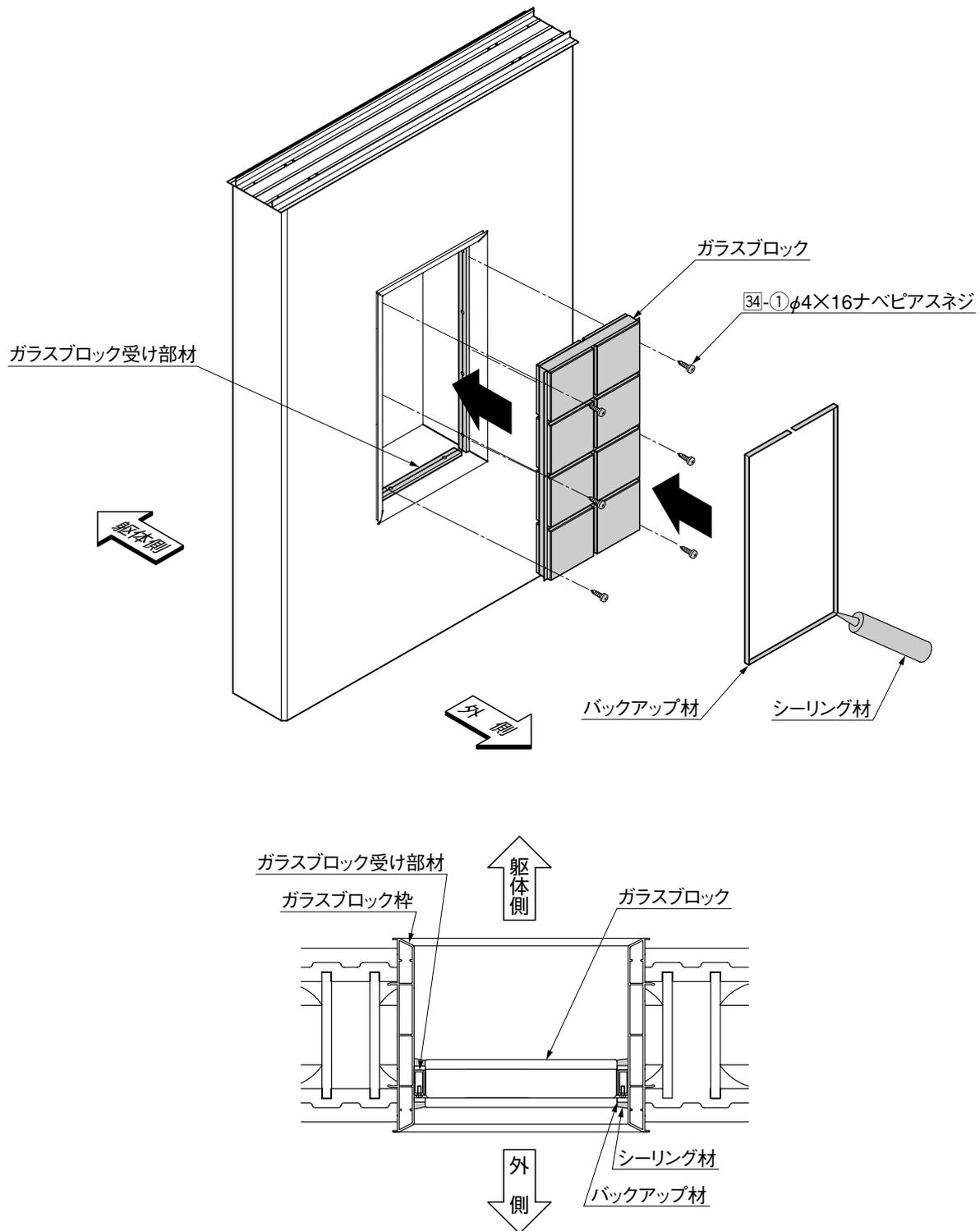
- 笠木ベースW, 笠木ベースSを取付けるときは、長いフィン(※1)とV溝(※2)がある方を躯体側にしてください。(図8-3参照)

❷ 壁柱が倒れないように、カイモノ等で仮固定してください。

🔧 補足

- 壁柱を仮固定するカイモノ等は、現場調達してください。

9. ガラスブロックの取付け



① 図のように取付けてください。

ポイント

- バックアップ材の取付けおよびシーリング処理は、外側、躯体側共に行なってください。

10. ブラケット固定材まわりの壁柱の仕上げ

- 10-1 表面仕上げ材の塗布** ※塗り&タイル仕様の場合の作業です。
※表面仕上げ材取付説明書 (E142) を参照してください。

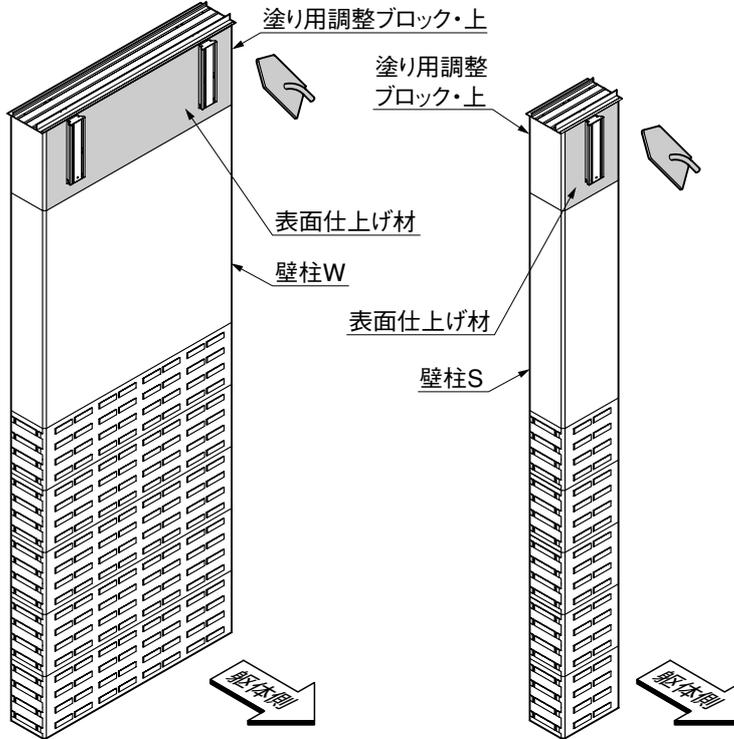
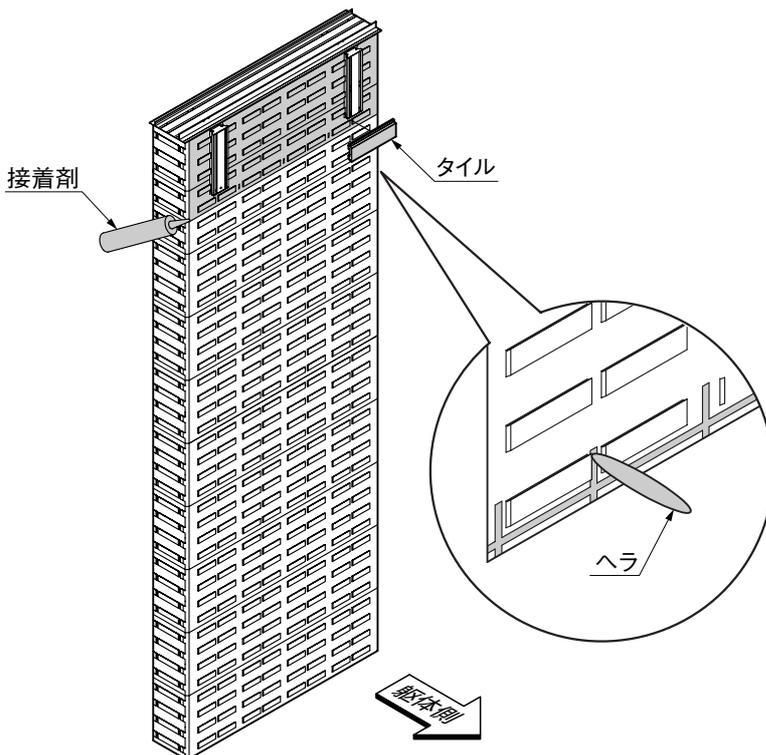


図10-1 壁柱Wの場合

図10-2 壁柱Sの場合

- ① 図のように、各塗り用調整ブロック・上の躯体側に塗布して仕上げてください。

- 10-2 タイルの張付け** ※フルタイル仕様の場合の作業です。



- ① 図のように、各塗り用調整ブロック・上の躯体側にタイルを張ってください。

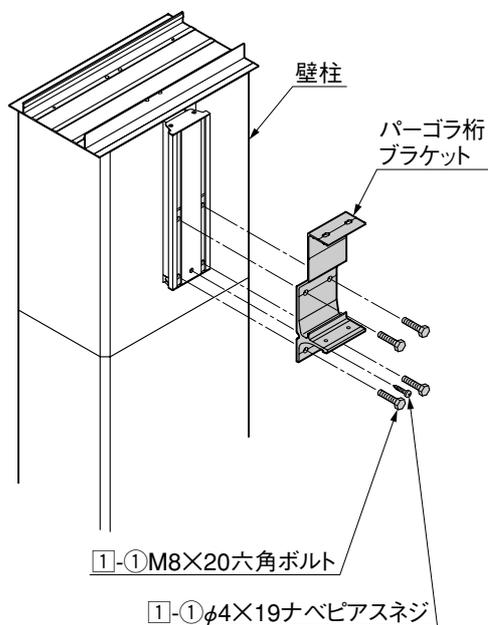
ポイント

- 接着剤は各ブロック凸部下側に、5mm程度盛り上がるように塗布してください。
- タイル縦目地部にも接着剤を塗布し、10mm~15mm幅のヘラで厚み1mm~2mm程度に引き延ばしてください。
- 1回の塗布面積は、接着剤の表面に皮膜層ができるまで、タイルを張付け可能な面積にしてください。
- 縦方向に塗布する接着剤は、タイル目地から下地の発泡材が白く見えるのを防ぐためのものです。
- タイルは下段から上段に向かって、ブロックに引っ掛けて固定してください。
- ブラケット固定材の納まりに合わせてタイルを割付けてください。
- 目地の直しは、張付け後30分以内に行なってください。

11. 桁の取付け

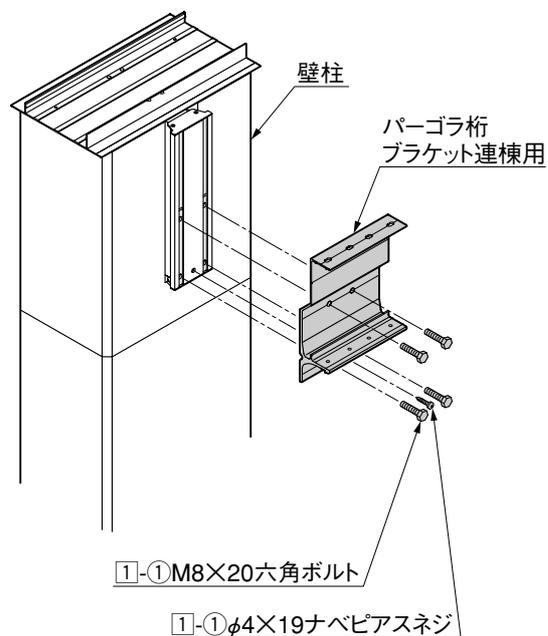
11-1 パーゴラ桁ブラケットの取付け

(1) 独立仕様の場合



① 図のように取付けてください。

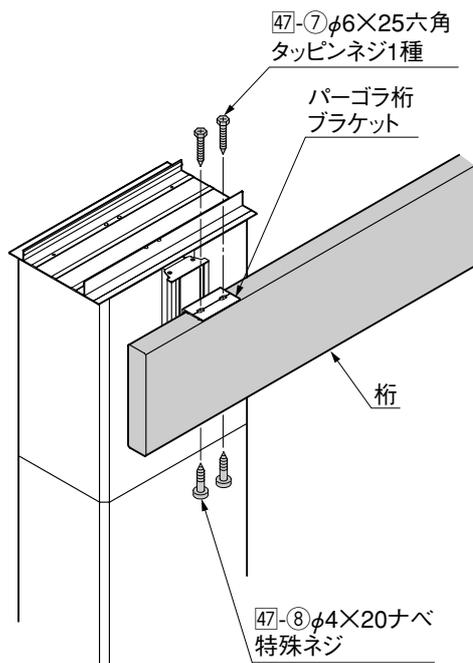
(2) 連棟仕様の場合



① 図のように取付けてください。

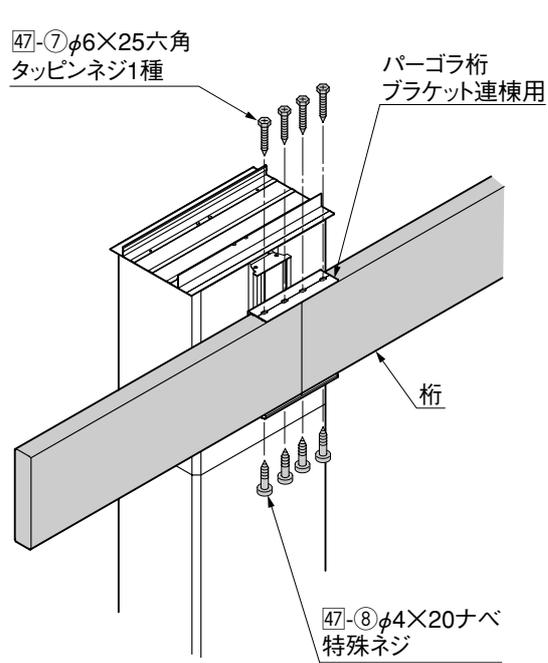
11-2 桁の取付け

(1) 独立仕様の場合



① 図のように取付けてください。

(2) 連棟仕様の場合



① 図のように取付けてください。

11-3 「私が創る自然浴」本体の側面幕板と桁の連結 ※「私が創る自然浴」本体連結仕様の場合の作業です。

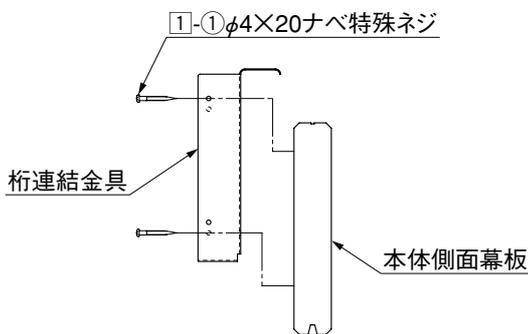
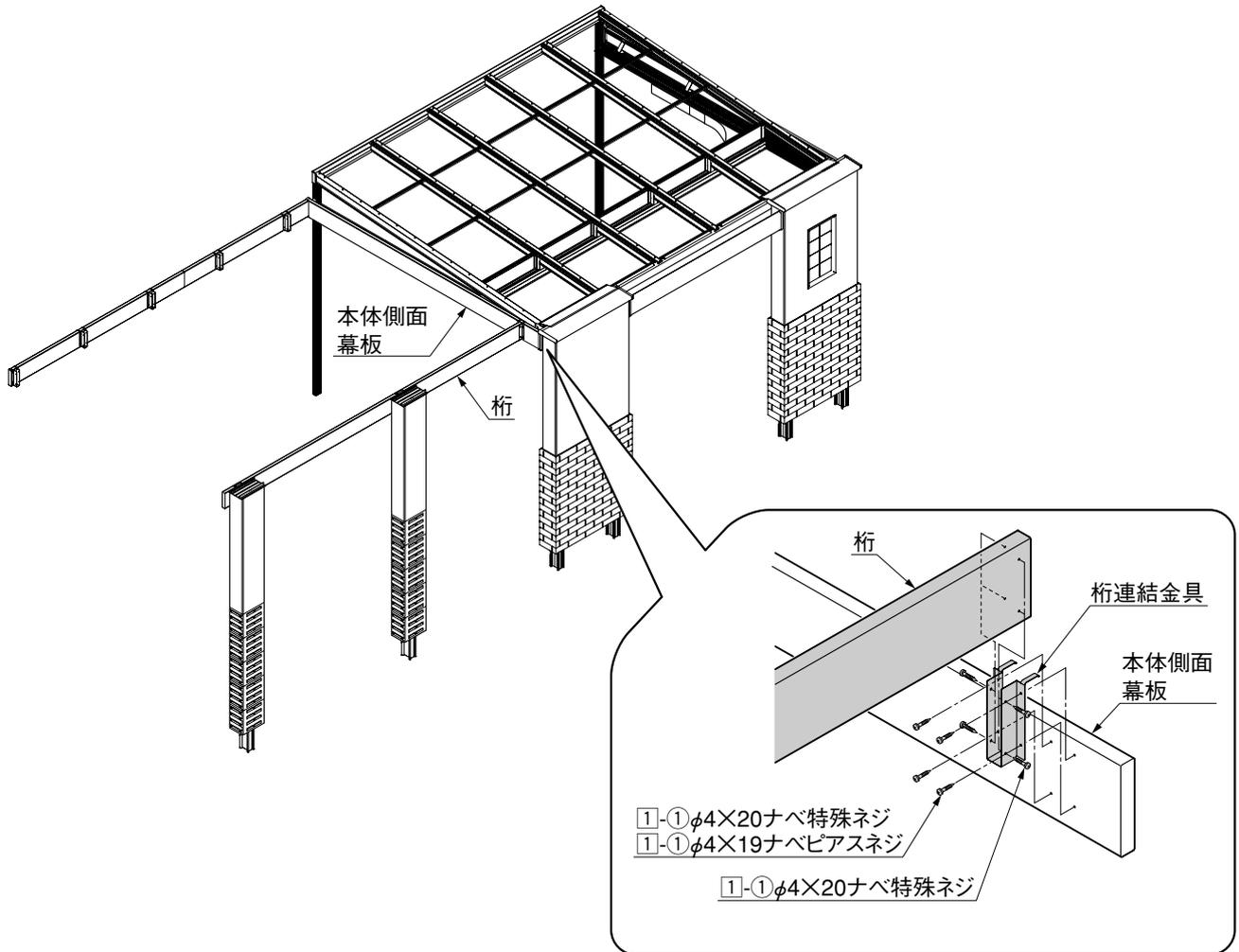


図11-1 ウッド幕板との連結

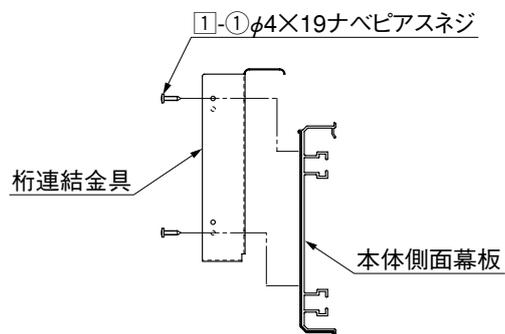


図11-2 塗り幕板との連結

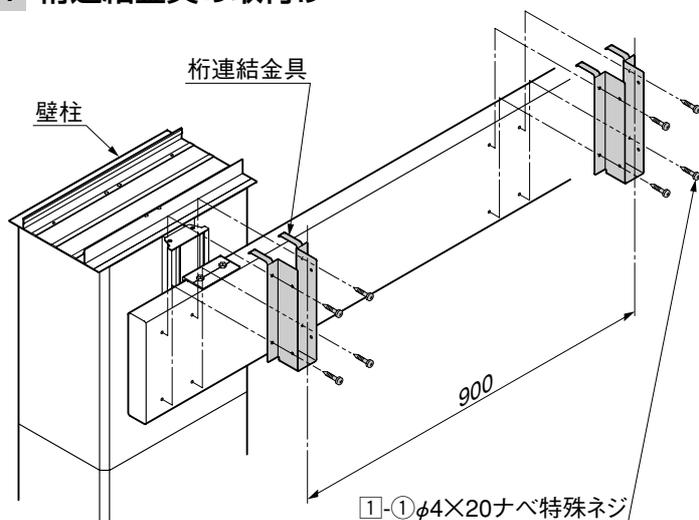
❶ 図のように取付けてください。

ポイント

- 桁連結金具を「私が創る自然浴」本体の側面幕板に固定して、桁を連結してください。
- 本体幕板の種類によって固定するネジが変わります。(図11-1、11-2参照)
- 本体の側面幕板がタイル幕板の場合、桁の連結はできません。

11. つづき

11-4 桁連結金具の取付け



① 図のように取付けてください。

ポイント

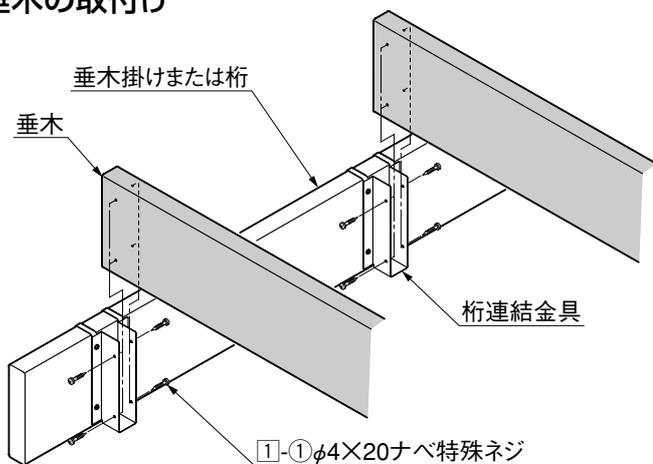
- 垂木ピッチが900mmになるように取付けてください。

3

本体の施工

12. 垂木・中骨の取付け

12-1 垂木の取付け

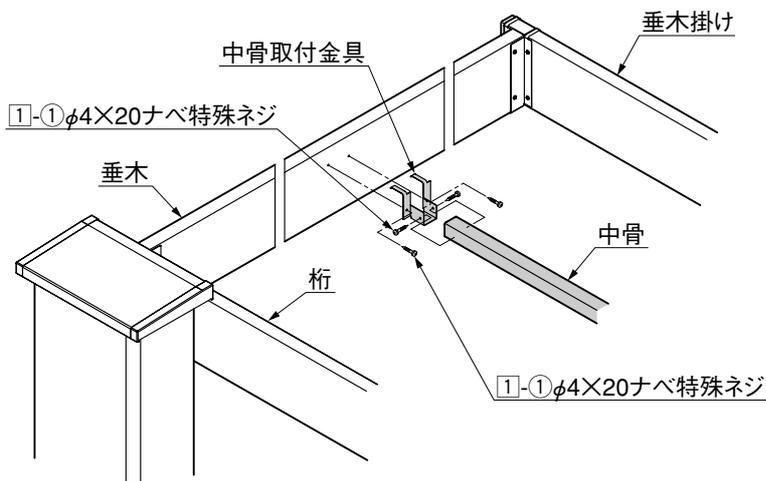


① 図のように取付けてください。

補足

- 図の垂木は、パーゴラ桁を使用します。

12-2 中骨の取付け



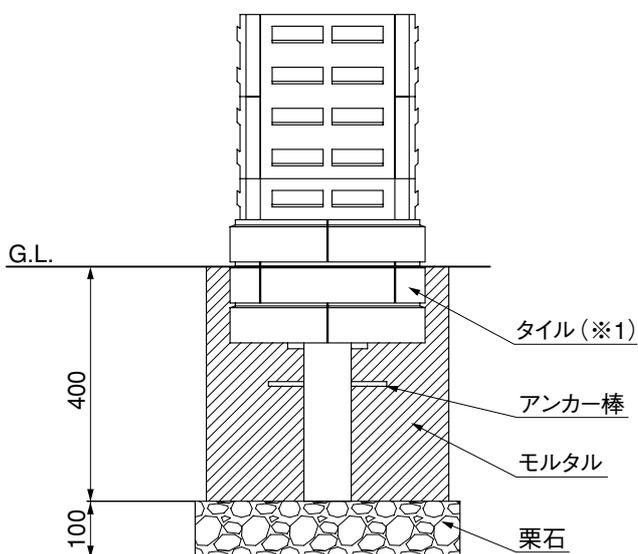
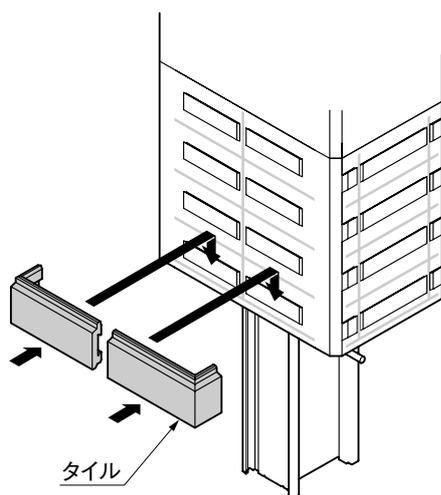
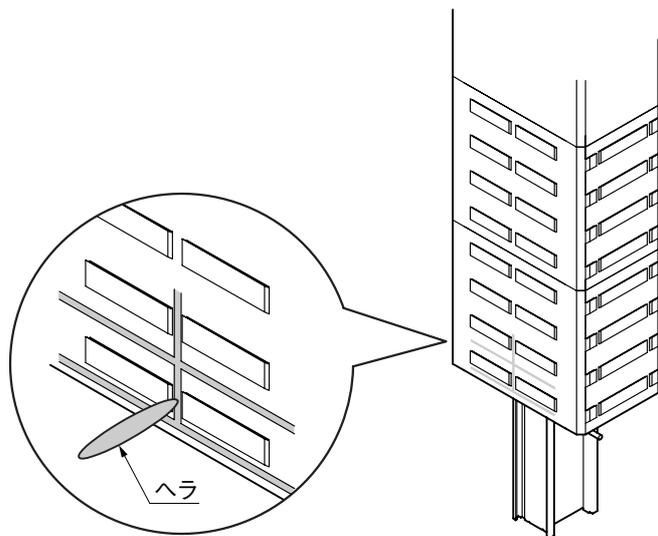
① 図のように取付けてください。

ポイント

- 4尺, 7尺, 9尺は1スパンに1本を垂木中間部に、12尺は1スパンに2本取付けてください。

13. 基礎部コンクリートの打設

※ガーデンシンクを取付ける場合は、ガーデンシンク取付説明書(E136)「2.レベル出し」と同時に行なう作業です。



- 1 図のように、ブロック最下段より基礎コンクリート打設部までタイルを張付けてください。(※1)

ポイント

- 接着剤は各ブロック凸部下側に、5mm程度盛り上がるように塗布してください。
- タイル縦目地部にも接着剤を塗布し、10mm～15mm幅のヘラで厚み1mm～2mm程度に引き延ばしてください。
- 1回の塗布面積は、接着剤の表面に皮膜層ができるまで、タイルを張付け可能な面積にしてください。
- 縦方向に塗布する接着剤は、タイル目地から下地の発泡材が白く見えるのを防ぐためのものです。
- 目地の直しは、張付け後30分以内に行なってください。

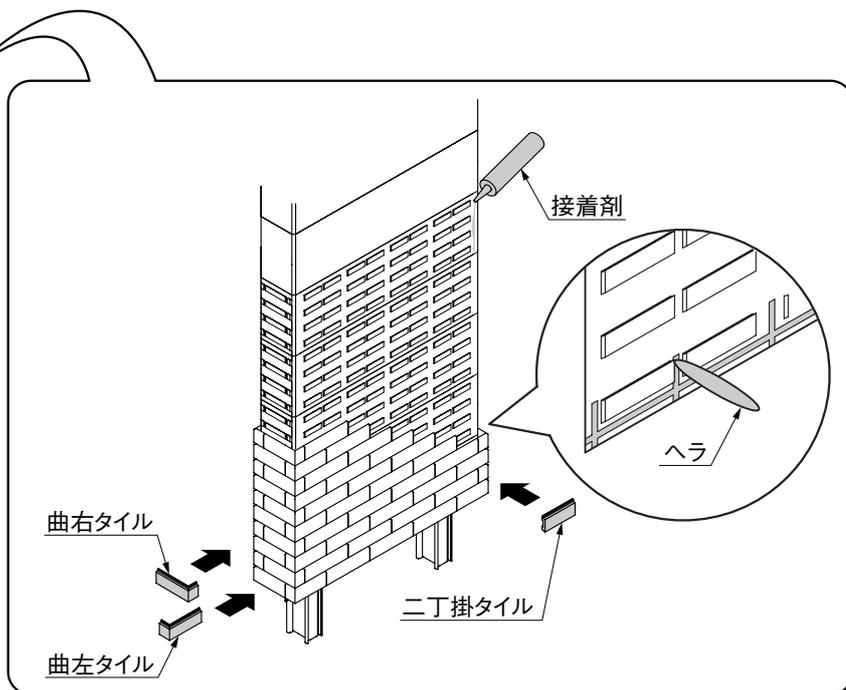
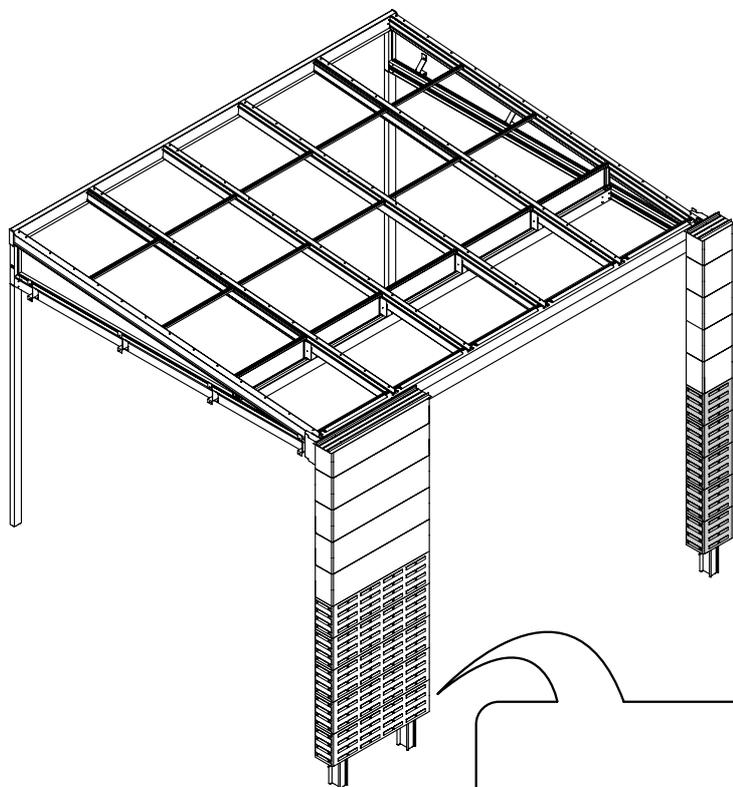
- 2 基礎コンクリートを打設してください。

14. タイルの張付け

※壁柱仕様の場合の作業です。

※収納庫を取付ける場合は、収納庫取付説明書(E140)「6.タイルの張付け」と同時に行なう作業です。

※ガーデンシンクを取付ける場合は、ガーデンシンク取付説明書(E136)「5.タイル工事」と同時に行なう作業です。



① 図のように壁柱にタイルを張ってください。

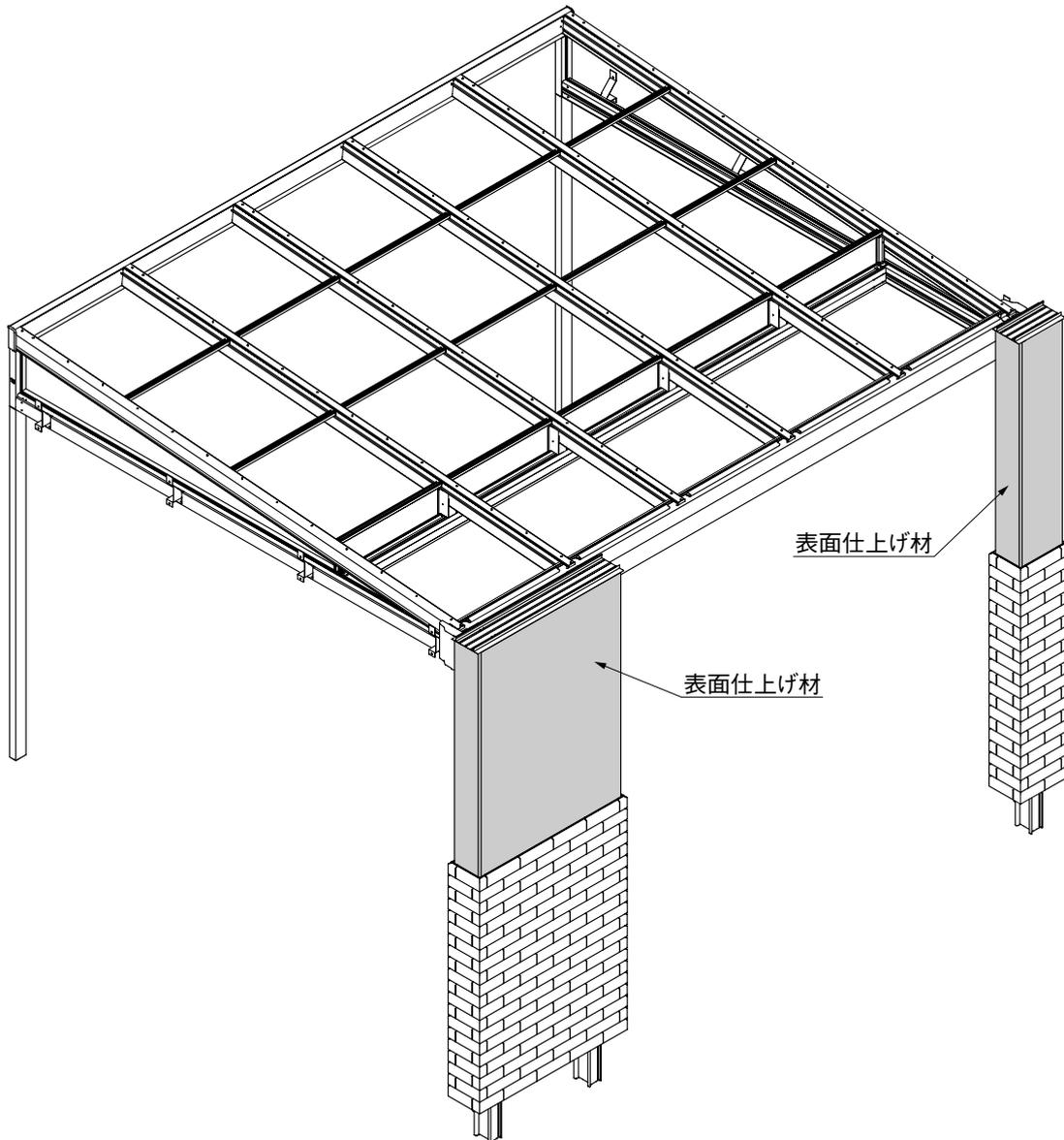
ポイント

- 接着剤は各ブロック凸部下側に、5mm程度盛り上がるように塗布してください。
- タイル縦目地部にも接着剤を塗布し、10mm～15mm幅のヘラで厚み1mm～2mm程度に引き延ばしてください。
- 1回の塗布面積は、接着剤の表面に皮膜層ができるまで、タイルを張付け可能な面積にしてください。
- 縦方向に塗布する接着剤は、タイル目地から下地の発泡材が白く見えるのを防ぐためのものです。
- タイルは下段から上段に向かって、ブロックに引っ掛けて固定してください。
- 目地の直しは、張付け後30分以内に行なってください。

15. 表面仕上げ材の塗布

※塗り&タイル仕様の場合の作業です。

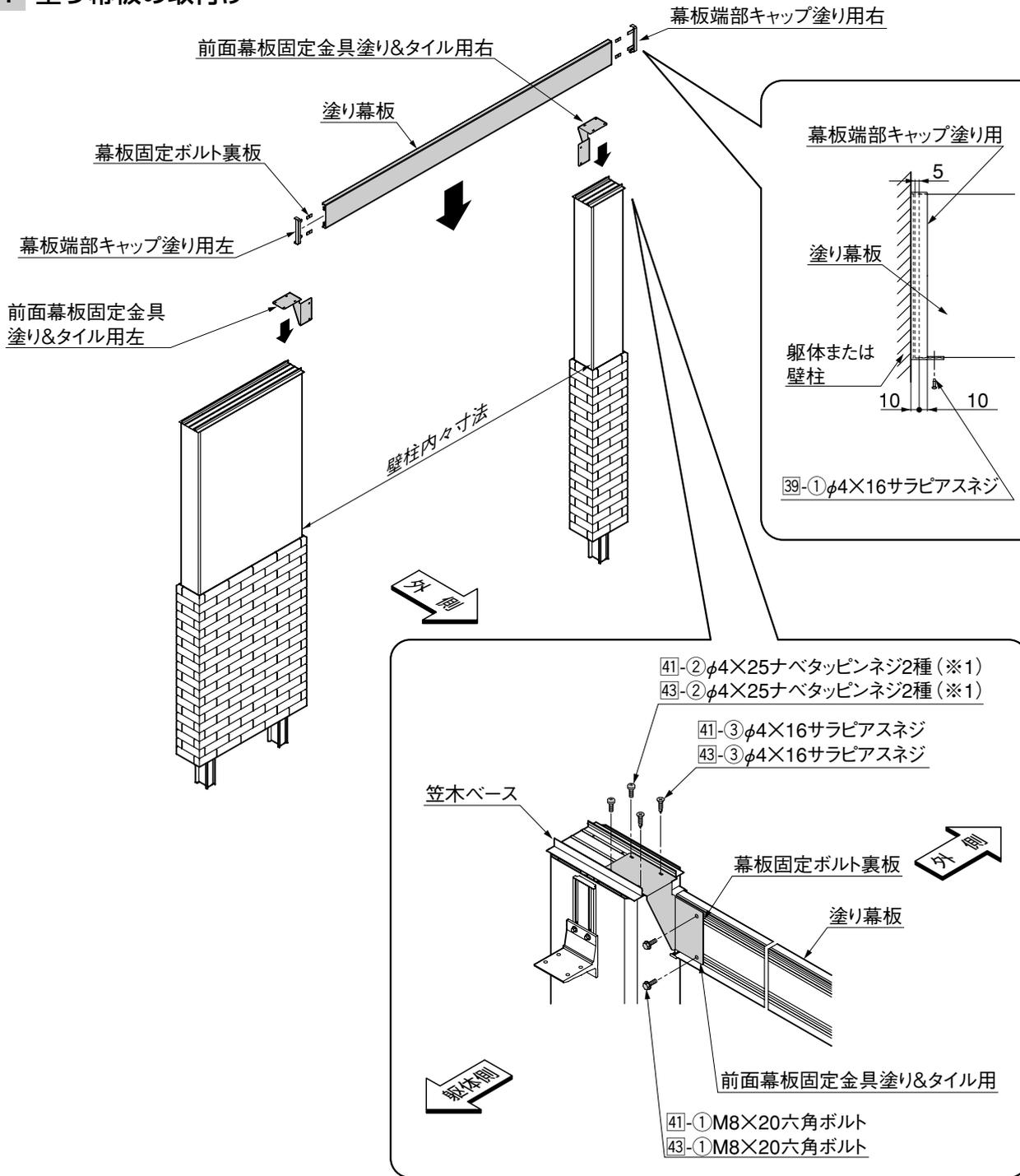
※塗材の塗布方法や注意等については、表面仕上げ材取付説明書(E142)を参照してください。



- ❶ 「表面仕上げ材取付説明書(E142)」にしたがって、壁柱塗り部分の表面仕上げ材の塗布作業を行なってください。

16. 前面幕板の取付け

16-1 塗り幕板の取付け

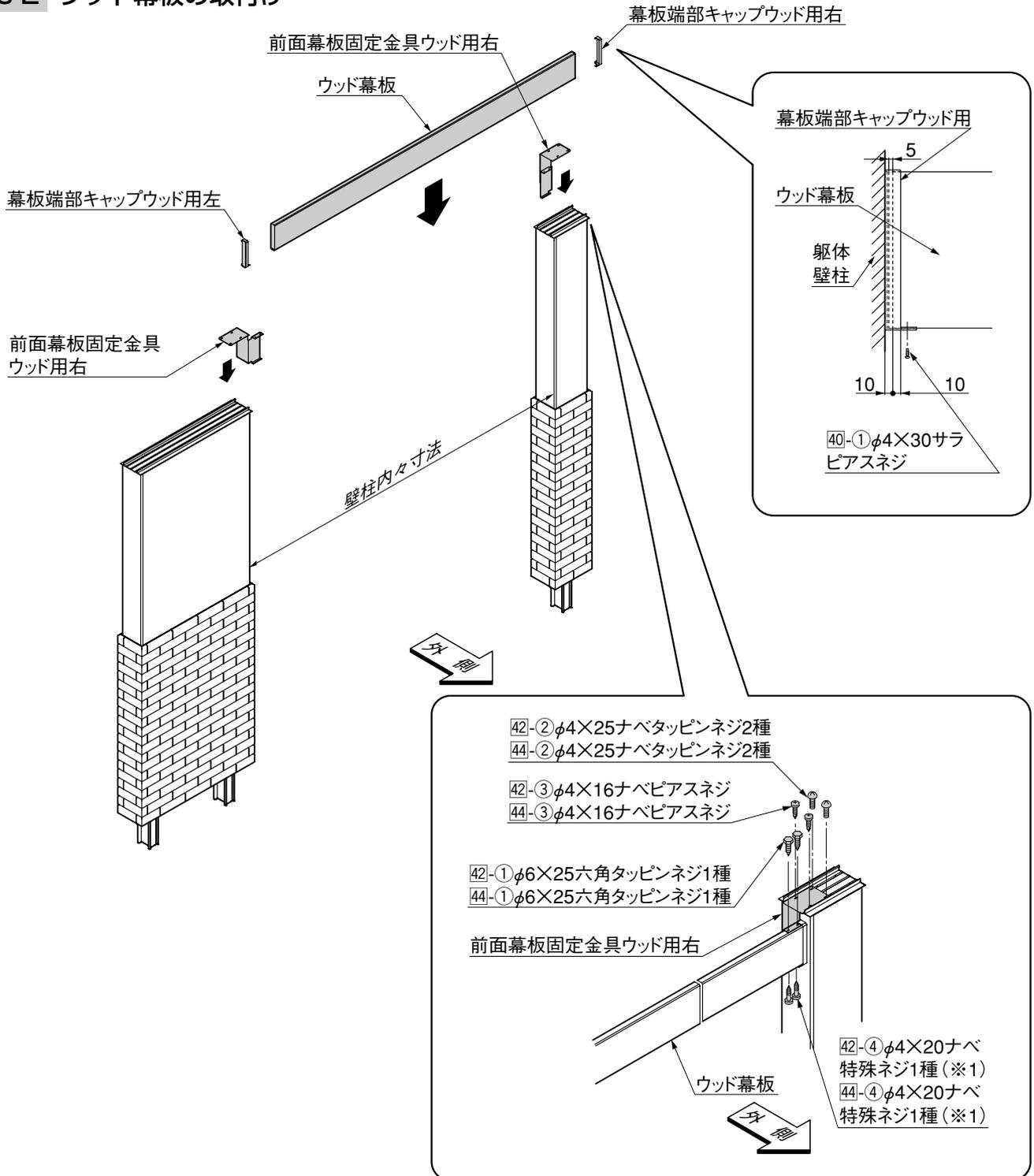


- ① 本体の間口、壁柱の仕様に応じて幕板を切断してください。
- ② 図のように取付けてください。

ポイント

- 幕板の切断寸法は、壁柱内々寸法から-20mmした寸法です。
- 塗り幕板をL連結金具で固定する場合も同様に幕板固定ボルト裏板を入れてください。L連結金具の取付けは、「17.幕板のL連結」を参照してください。
- 笠木ベースに取付いているネジをいったん取外して、41-②、43-②(※1)で固定してください。

16-2 ウッド幕板の取付け



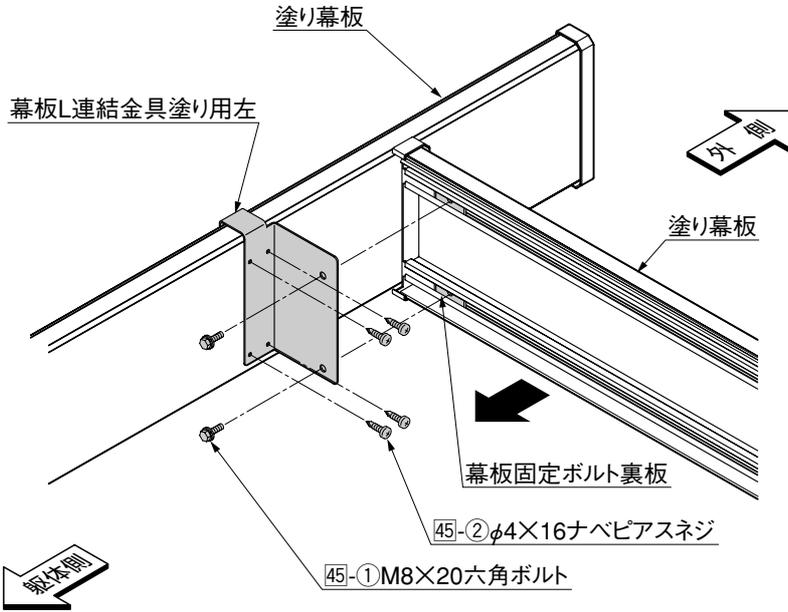
- 1 本体の間口、壁柱の仕様に応じて幕板を切断してください。
- 2 図のように取付けてください。

ポイント

- 幕板の切断寸法は、壁柱内々寸法から-20mmした寸法です。
- 笠木ベースに取付いているネジをいったん取外して、42-②、44-②(※1)で固定してください。

17. 幕板のL連結

17-1 塗り幕板の場合 ※図は左側面に連結する場合です。

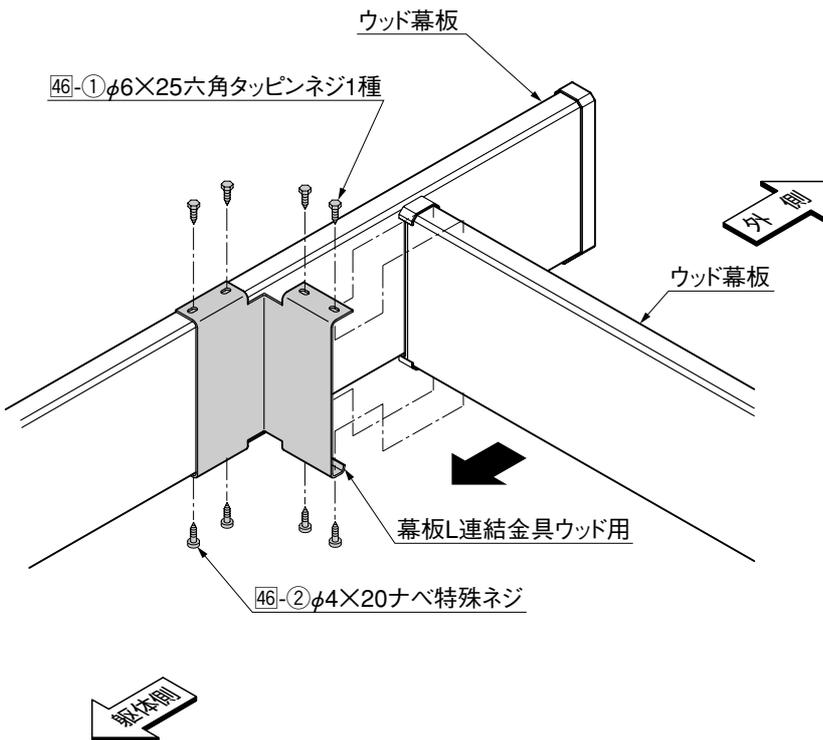


① 図のように取付けてください。

ポイント

- 幕板L連結金具塗り用には左右があります。テラス外観左側面のL連結に使用するのが左用、右側面のL連結に使用するのが右側です。
- 幕板L連結金具塗り用は、塗り幕板同士の連結以外には使用できません。

17-2 ウッド幕板の場合 ※図は左側面に連結する場合です。



① 図のように取付けてください。

補足

- 幕板L連結金具ウッド用には左右がありません。



取説コード
E134

200310A_1007